

第九十回
帝國議會
貴族院

勞働關係調整法案特別委員會會議事速記録第五號

(一六二)

付託議案
○勞働關係調整法案

昭和二十一年九月十八日(水曜日)午前十時十八分開會

○委員長(吉武惠市君) 是ヨリ開會致シマス

○種田虎雄君 現在行ハレテ居リマス。勞働關係調整法案ニ依ツテ、此ノ勞働組合ガ制定サレマシテカラ以後ニ、實際ニアノ法律ガ活用サレタヤウナコトガゴザイマセウカ伺ヒタイ

○政府委員(吉武惠市君) 現在アリマス。勞働關係調整法案ハ、此ノ組合ガ制定ニナリマシテカラ後ハ活用シテゴザイマセウ、利用シタコトハゴザイマセウ、ソレデ制定サレテカラ後今日迄ノ間ニ係ツタノガ、確カ六件位シカアリマセウ

○種田虎雄君 出來マシテカラ今迄……

○政府委員(吉武惠市君) 昔出來マシテカラ今日迄ノ間ニ係ツタモノハ六件デアリマス

○男爵山名義典君 只今六件ト君ハレタガ、ドンナ風ニナツテ居リマスカ、大抵ウマクソレニ依ツテ解決シテ居リマスカ

○政府委員(吉武惠市君) 只今ノ舊勞働關係調整法案ニ依ツテ係ツタノガ六件位デアツタト思ヒマスガ、詳シイコトハ私チヨット記憶ゴザイマセウガ、大體ハ市電ノ爭議ガ主デアツタカト思ヒマス、其ノ中確カソレデ解決シタト云フノハ四件位デ、アト二件ハ不調ニ終リタカト思ヒマス、大體ハ市電ノ爭議ガ係ツタヤウニ記憶シテ居リマス

○男爵中村敬雄君 今開イテ居ラレマス。勞働關係調整法案ニ關スル公聴會ノ模様ニ付テ、私共ハ新聞知ツテ居ル程度デゴザイマスガ、重要ナ問題ニナツテ居ル所ヲ簡單デ宜シデスガ、チヨット御聴キシタイト思フノデアリマス

○政府委員(吉武惠市君) 勞務法制定議會ノ小委員會デ案ヲ作ツテ居リマス。其ノ案ヲ公聴會ニ掛アテ、十日位毎日開イテ居リマス、色々意見ガゴザイマス、使用者側ノ意見モ色々ゴザイマス、又勞働者側カラモ色々澤山ナ意見ガゴザイマスガ、マア總體ナ意見見トシテハ、使用者側カラ出ル意見ハ、敗戦後斯ウ云フ風ナ經濟ノ狀況ニ於テ此ノヤウナ基準法ヲヤツタノデハ經濟ガヤツテ行ケルダラウカドウカト云フ風ナ心配ノ意見ガ總體ナアツタノデス、ソレカラ勞働者側ノ方ノ意見見トシテハ、現在勞働協約等ニ於テ獲得シテ居ル勞働條件ハ是以上ノモノデアラソレデ若シ此ノ基準法ヲ出サレルト云フト、使用者側ハ、此ノ基準法ハ政府ノ示シタ基準法カラ改訂シテシマ現在行ハレテ居ル協約ヲ改訂シテシマヒハセヌカ、サウ云フコトニナリハセヌカト云フ意見モゴザイマス、ソレカラモウツツ使用者側カラ出タ大體全般ノ意見見トシテハ、此ノ基準法ハ勞働者保護ノ爲ニ使用者ニ色々ナコトヲ要求シテ居ルノデガ、勞務者ニモ一ツ義務ヲ課スベキデハナカラウカ、使用者モ守ラニヤナラヌガ、勞働者側モ誠實ニ仕事ヲヤツテ行ク義務ヲ負フベキデハナイカト云フヤウナ意見ガ出テ居リ

マス、ソレカラ個々ノ問題、條文、ソレ等ハ色々ゴザイマス。ノデスガ、使用者側カラ出テ居ルモウツツ問題ハ此ノ災害扶助、詰リ工場其ノ他ノ業務上負傷疾病ヲシタ場合ノ扶助デゴザイマスガ、是ガ從前ノ扶助ノ負擔額カラハ相當上ツテ居リマス、從ツテ大キイ企業ニ付テハ負擔力ハアルダラウケレドモ、今度ノ法律ノ適用ガ、一人デモ二人デモ使ツテ居ル小サイノ迄適用ガアル譯デアリマス。サウ云フ細カイ企業ニ付テハ負擔ガ出來ヌヤウナリハシナイカト云フ風ナ意見ガアルノデゴザイマス、デ之ニ付キマシテハ御尤モナ點モアリマシス、一方所謂勞働保險制度ニ依ツテ「カウアー」スル必要ガアラウカト思ツテ、目下其ノ方ハ保險ノ方ト折衝シテ居ル譯デアリマス、サウ云フ意見ガ主ナル意見デアツタカト思ヒマス、ソレカラ勞働者側カラ出タ他ノ主ナ意見トシテハ、アノ中ニ解雇スル場合、三十日前ニ預告ラスルカ、或ハ又三十日間ノ給與ヲ與ヘナケレバナラヌト云フ規定ガアリマスガ、是ガ丁度今般首ト云フヤウナ問題ガ所謂勞働問題ノ大キナ問題デアリマス。爲カ、二十日前ニ預告デ首ヲ切ラレチヤ大變デ、是ハモットウソレ、一箇月デヤナクテ六箇月ナリ或ハソレ以上ノ手當ヲ出スベキデヤナイカト云フ風ナ意見、又業務上ノ負傷疾病ヲヤリマシタ時ニハ、其ノ間ハ病氣ガ治ル迄、或ハ打切ヲヤリマス迄ハ解雇シテハナラヌ、ソレガ治ツテカラ三十日経タナケレバナラヌト云フ制限保護ノ規

定ガアル譯デアリマスガ、業務上ノ負傷疾病ヲシタ者ハ治ツタカラト云ツテ、ソレデ勞働能力ガ阻害サレテ居ルンダカラ、ソレヲ三十日経ツタラ解雇出來ルト云フコトハ怪シカラヌ、サウ云フ者ハウシント長タ使フベキダト云フヤウナ意見アタリガ、主ナ意見デアツタヤウニ思ヒマス、ソレカラ質疑ノ點デハ、所謂同一勞働價值ニ對スル同一賃銀ノ問題デアリマス。ルカ、色々細カイ點ニ付テハ兩方カラ議論ガゴザイマシタ

○竹中藤右衛門君 チヨット御伺ヒシタイノハ、解雇手當デスネ、是ハマア三十日前ニ預告ト云フコトニナツテ居リマスガ、其ノ外ニ何デスカ、政府カラ特ニ今度ノ打切問題ニ依ツテ出來ル失業業者ニ對シテハ特別ニ政府ガ御出シニナル御考ガアリマス。デセウカ、新聞デ見マス、何時カ三箇月分ヲ出スナント云フ新聞ガ出タコトガアル、是ハ特別ニ政府ガ御出シニナル御考ナンデスカ

○政府委員(吉武惠市君) 今度ノ補償打切ニ係ヒマス。退職金ノ問題ニ付キマシテハ目下關係方面ト折衝中デゴザイマス。ルカ、何トモ申上ゲ兼ネマスガ、併シ退職金ヲ政府ガ出スト云フ考ハゴザイマセウ、唯併シ整理サレル工場デ全然資產ガナクテ、ソレデ一文モ金ヲ貰ハズニ離職ラスルト云フ者ニ付テハ、若干ノ考慮ヲ拂ハナケレバナラヌノデヤナカラウカト云フコトハ考ヘテ居リマス、今御話ノアリマシタヤウニ三箇月分政府ガ出スト云フヤウ

ナコトハ考ヘテ居リマセウ

○男爵山名義典君 此ノ法案ノ運用ノコトヲ、主トシテ第三章ノコトニ付テ二三伺ヒタイト思ヒマス、此ノ法案ハ恐ラク法案自體トシテ考ヘルナラバ、國際ノ水準ヲ拔イタ模範ノ法案デアラウト思フノデアリマスガ、ソレナレバコソ、今日ノ世界ノ狀態カラ非常ニ立後レタサウシテ混亂ラシテ居ル我が國ノ勞働關係ニ之ヲ適用スルノニハ、其處ニ非常ナ距離ガアルト言ヒマス、矛盾ガアルト言ヒマスルカ、困難ナ點ガ起ルノデハナイカト思フノデアリマス、其ノ故ニ衆議院ニ於キマシテモ種々ノ反對ガアルノデハナイカト思フノデアリマス、私自身モサウ云フ點ニ關聯シマシテ、二三法案ノ中ニモ疑問ヲ持ツテ居ルコトガアルノデアリマスガ、併シナガラソレハ今日擬テ措キマシテ、左様ナ私ノ考デハ、此ノ法案ヲ今日ノ混亂シテ居ル我が國ノ勞働關係ニ適用スルニ付キマシテハ、其ノ運用ニ付テ餘程用意ラシテ掛ラナケレバナラヌノデハナイカト思フノデアリマス、先程ノ御話デ、前ノ調停法ハ六件ヲ扱ツテ、四件ハ大體片付イタト云フ御話デアリマシタガ、是ハ恐ラク戰爭前ニ出タノダラウト思フノデアリマス、終戦後今日ノ狀況ニ於キマシテハ、左様ナコトヲ期待出來ナイ程ノ困難ガアルノデハナイカ、ソコデ此ノ法案ノ運用ニ付キマシテ、實際ニ一番大切ナ役割ヲ務メルノハ、私ハ第三者ノ委員デハナイカト思フノデアリマス、第三者ノ委員ガ最も公正ニ兩者ノ心服

ヲ得テ、而モ國家産業ノ前途ヲ考ヘタ
高邁ナ識見ヲ以テ、公正ナ合理的ナ判
定ヲ下シマスル時ニ、初メテ勞資兩者
ノ委員ガ之ニ納得モ致スデアリマセウ
シ、從ツテ經營者側モ、勞働組合側
モ、其ノ判定ニ聽從シヨウト云フコト
ニ相成ルト思フデアリマシテ、第三
者委員ト云フモノガ餘程此ノ法案ノ運
用ニ付テハ大切ダト思フデアリマス
ス、第十一條ニ「勞務員候補者は、學
識經驗を有する者で、この章の規定に
基いて勞働爭議の解決につき援助を與
へることが出来る者でなければならな
い」ト云フ規定ガアリマスルガ、是ガ
恐ラク私ハ第三者ガ選定サレル場合ノ
基準ニナルノダト思フデアリマス、
處ガ此ノ「學識經驗を有する者」ト云フ
字句ハ、是ハ今迄ノ慣用ノ字句デアリ
マシテ、何處デモ斯ク云フコトガ使ハ
レテ居ルノデアリマスガ、今日學識ハ
扱テ措キマシテ、今日ノヤウナ困難
ナ勞働關係ヲ調整シテ行クト云フ場
合ニ、豐富ナ經驗ヲ持ツタ第三者タル
ベキ者ハ、私ハ誠ニ寧々タルモノダト
思フデアリマス、ソコデ其ノ點ガ私
ハ非常ニ心配ニナルノデアリマス、政
府ニ於ケレバ豫メ此ノ第三者ヲ補強
スルト云ヒマスガ、言葉ハ少シ變デア
リマスガ、極メテ豐富ニ第三者ノ委員
タルベキ人ヲ御持チニナツテ居ラナイ
ト、適正ナ運用ニ事ヲ缺クト思フノデ
アリマス、其ノ點ニ付キマシテ何カ御
當局ニ於テ此ノ措置ヲ講ジテ居ラレル
カ、ドウ云フ御考ガアルカ、出來ルデ
ケ具體的ニ伺ヘレバ、此ノ法案ニ賛成
ヲ致スニ付テ、非常ニ參考ニナラウト
思ヒマス、大臣ニ出來ルデケ一ツ御伺
ヒ致シタイト思ヒマス

○國務大臣(河合良成君) 只今ノ御質
問御尤モノ次第デゴサイマシテ、矢張
リ一番本ニナリマスノハ勞働委員會ノ
委員ノ選任デアリマス、ソレデ勞働委
員會ノ委員ハ、御承知ノ通りニ貴本家
側ト、勞働者側ト、第三者側ト、三ツ
ニナツテ居リマス、貴本家側ト勞働者
側ハ、是ハ選舉ニ依ツテヤツテ來ルコ
トデアリマスルカラ、是ハドウモ其ノ
各ノ團體デ選舉シテ來スカラ、ソ
レニ付テハドウ云フ考ノ樹テヤウハナ
イデアリマスルガ、第三者カラ出ス公
平ナ委員ト云フモノハ、是ガ一番問題
ノ中心ニナルト見テ居リマス、ソレデ
殊ニ中央勞働委員會ノ委員ニ付キマシ
テ、是ハ餘程慎重ナル考慮ヲシナクチ
ヤナラスト云フ考デアリマシテ、是ハ
此ノ十一月頃ニ改メテ勞働委員會ノ委
員ヲ作ル譯デス、ト申スノハ、前ノ勞
働組合法ガ出來マシタ時ノ委員ノ選定
ハ、マダ法規關係其ノ他ガ十分デナカ
タ爲、或ハ選舉團體デアル貴本家團體
及ビ勞働組合ノ團體ガハツキリシナカ
タ爲ニ暫定的措置デ處理致シマシ
タ、ソレデ今度ハ愈々ソレヲ發表シマ
シタカラ、此ノ機會ニモウ一遍ヤリ直
ス譯デス、此ノ時ノ委員、特ニ第三
者委員ニ付テハ、政府ニ於テモ十分ナ考
慮ヲスル積リデアリマス、是ハ政府ノ
方ガ原案ハ提出者ニナル譯デアリマ
ス、地方委員ハ府縣知事ガ原案ノ提出
者ニナリマシテ、サウシテソレヲ資本
家團體及ビ勞働者團體カラ選任シマ
シタ委員ニ協議シマシテ、サウシテ
ヤツテ行クト云フ形ニナツテ居リマ
ス、原案ハ政府及ビ府縣デ作ルノデ
アリマスルカラ、此ノ點ニ付テハ餘
程重大ナル考慮ヲ拂ヒタイ、又地方
長官ニ對シテ拂ハセル積リデ居リマ
ス、是ハ一番本ニナルト思ッテ居リ

マス、ソレカラ其ノ次ハ調停委員ノ選
任ノ問題ニナリマスルガ、調停委員ノ
選任ハ「リスト」ヲ作ツテ置クノガ本ニ
ナリマシテ、必ズシモ其ノ「リスト」ニ
依リ譯デハアリマセウケレドモ、其ノ
「リスト」ヲ作ツテ、其ノ中カラ適當ナ調
停委員ヲ出スト云フコトニナリマス、
是ハ主トシテ勞働委員會デ選ブコトニ
シテ勞働委員會ノ權限ニナリマス、是
ハサウ云フ問題ニ處ケル經驗ナリ或ハ
良識ノアル方ヲ選ブノデアリマスル
ガ、マア適當ナ人ハナカ／＼ナイトハ
思ヒマスルケレドモ、是ハ多數ノ中カラ
比較的公平ナ人ヲ選ビマシテ、サウ
シテ其ノ「リスト」ノ中カラ其ノ場合々々
ニ適當ナ人ヲ又選リ出スノデアリマ
スカラ、適用サヘ十分氣ヲ付ケテ行ケ
バ大丈夫ダト云フ考デアリマス、斯ウ
云フ時代デアリマスルノデ、御承知ノ
通り各方面ニサウ云フ適當ナ人ノナカ
ナカ少イコトハ事實デアリマスルガ、
政府ノ力ノ及ブ範圍内ニ於テハ最善ヲ
盡ス積リデ居リマス

○男爵山名義鶴君 第三者ノ委員ノ選
定ノ方法其ノ他ニ付テ慎重ニ御處置ニ
ナルト云フコトヲ誠ニ然ルベキコトト
思ヒマスガ、私ハ愚見ヲ先ヅ申上ゲレ
バ、寧ろ積極的ニ、言葉ハ少シ變デア
リマスガ、「プール」ヲ作ツテ行クト云
フ位ナ政治的ノ措置ヲ今日御講ジニナ
ル必要ガアルノデハナイカ、今日、既
存ト言ヒマスガ、既成ト言ヒマスガ、
是モ甚ダ變ナ言葉デ相濟マスコトニナ
リマスルカ、其ノ人ノ中ニハ、私ハ此
ノ混亂シタ勞働狀態ヲ快刀亂麻ノ斷ツ
ガ如ク捌キ得ルト云フ人ハ餘リナイト
思フ、ノミナラズ、アリマシテモ、私
ハ其ノ據ルベキ先例ト言ヒマスガ、事
例モ乏シイシ、マア勞働基準法ガ出來

マズレバ、一應ハ法制的ナ基準ハ出來
マシテモ、矢張リ勞働關係ハ度々御話
バヤウニ事實的ナ基準ガ一番大切ナン
デス、サウ云フモノヲ通ス場合ニ於キ
マシテ、ナカ／＼是ハ困難ナ問題ダト
思ヒマス、策三者ノ委員タルベキ資格
トシマシテハ、私ハ第一ニハ矢張リ產
業ノ機微ニ通ジ、サウシテ合理化、產
業ノ平和ト云フモノヲ積極的ニ採上ゲ
テ、一段ト之ヲ確立シ、推進スルト云
フ位ノ見識ト積極的ナ熱意ガ大切ダト
思フ、第二ニハ、私ハ特ニ勞働組合ノ
事情ニ通ジテ勞働組合ニ親愛ノ情ヲ持
ツテ居ル人デナケレバ、今日ノ委員ノ
任務ハ果シ得ナイト思フ、サウシテ勞
働組合ニ親愛ノ情ヲ持チナガラ、而モ
公正ナル第三者ノ立場ヲ嚴守シ得ルト
云フヤウナ人デナケレバナラヌト思フ
ノデアリマスガ、斯様ナ人ヲ「プール」
的ニ、何ト言フカ、勞働委員會法ト言
ヒマスガ、更ニ前サウ云フ「プール」ガ
存在シテ、其處カラシテ可成リ豐富ニ
第三者ノ委員ガ選ビ出セル、産業ノ
ソレ／＼ノ業態モアリマセウシ、勞働組
合ノ性質モアリマセウシ、ソレ等ノ其
ノ時々ノ必要ニ應ジテ、第三者ノ委員
ガ豐富ニ選ビ出サレルト云フコトガア
リマセウケレバ、此ノ法ガ極メテ合理
的ナ冷靜ナ法律デアルデケニ、運用ガ
極メテ困難デアルト思フ、ソコデ私ハ
斯ウ云フコトヲ政府ハ御ヤリニナル御
考ハナイカト云フコトヲ伺ヒタイノデ
アリマスガ、法案ノ趣旨デアリマスル
平和産業ノ維持、勞働能率ノ増進、產
業合理化ト云フヤウナコトニ付テ相當
大規模ナ調査委員會ヲ此ノ際御作リニ
ナツテ、サウシテソノニス様ナ第三
者タルベキ人ヲ多數御迎ヘミナツテ、豫
メ今日ノ産業ノ狀態、勞働ノ關係ニ付
テ調査研究ヲシ、サウシテ其ノ立派ナ
報告書ガ出來マスナラバ……外國ニア
リマスル如ク多數意見、少數意見ノ報
告書ガ出來テモ私ハ宜イト思フ、眞相ニ
觸レタ報告書ガ隨時出來マスルナラバ、
是ハ矢張リ輿論ヲ指導スル一ツノ方
法ニモナリマスルシ、サウシテ第三者
ノ委員ト云ハズ、調停委員會ナリ調査
委員會ガ判定ヲスル、仍テ以テ立ツ所
ノ基準ニモナル、最ハ私ノ意見ノ唯一
例デアリマスルガ、斯様ナ積極的ナ政
治的ナ措置ヲ御講ジニナツテ行カナイ
ト、私ハ此ノ法案ハ運用ニ於テ甚ダ困
難ガ生ジテ來ルノデヤナイカト考ヘル
ノデアリマスガ、モウ少シ具體的ニ政
府ノ御考ナリ私ノ愚見ニ對スル御所見
ナリヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(河合良成君) 只今ノ御考
ハ私共非常ニ參考ニナル點ガ多イト思
フテ居リマスルノデ、能クサウ云フ點ニ
付テ問題ヲ考ヘタイト思ヒマスガ、過
日モ聯合國側デ勞働調査委員會ノ「レ
ポート」アドヴァイス・コミッテイ」ト云
フモノガ出來マシテ、向フカラ數名ノ
其ノ調査委員ガ來マシテ、サウシテ
段々日本ノ此ノ勞働問題ノ遷り變リノ
現狀ヲ調査シマシテ、相當廣汎ナ調査
報告書ガ此ノ間出マシタ、一部ハ世間
ニ發表シタヤウデスガ、マダ全部ハ發
表シテ居ラヌヤウデスガ、ソレヲ私共
ガ讀ンデ見マシテ、非常ニアチラコチ
ラノ日本ノ勞働問題ニ付テ示唆ヲ得ル
ノデアリマス、ト云フヤウナコト等モ
一例デアリマシテ、兎モ角モ此ノ勞働
問題ハ今御話ノ通りニ相當矢張リ専門
的ノ分野ガアリマスルノデ、今後矢張リ
勞働問題ノ處理ニ當ルオ方ノ頭ニ、サ
ウ云フ基礎的ナ調査ナリ、基礎的ナ資
材ナリ、基礎的ナ事實ナリト云フモノ

ニ親交シテ實フト云フヤウナ考ハ非常ニ結構ナ考デアルト思フテ居リマス、サウ云フ點ニ付テ考慮ヲ致シマス、○男爵山名義典君、モウツ私ハ附加ヘテ御伺ワシタイノハ、結局ニ於キマシテ此ノ法案ノ圓滑ナ運轉ノ一種ノ背景ヲ成スモノハ輿論ダト思ヒマス、過日來モ御話ガアリマシタヤウニ、又ハ周知ノ誰モ輿論ノナイコトデアリマスガ、我ガ國ノ輿論ト云フモノハ極メテ感情のデアツテ理性的デナイ、ソコニ非常ナ又此ノ法案ヲ採用スルニ付テ難點ガアルト思フ、私ハ甚ダ失禮ナ言ヒ實デアリマスガ、政府當局ノ輿論ノ指導方法ガ少シ消極的デハナイカ、モウ少シ積極的ニ輿論ニ訴ヘルト云フコトヲサレ必要ガアルノデハナイカト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、サウシテ又其ノ表現ノ仕方ガ餘リニ現實ノ處理ヲ中心ニシタ現實的デアアル、ソコニナント言ヒマスカ、思想ト言ヒマスカ、「イデオロギー」ト言ヒマスカ、サウ云フモノ、サウ云フ處理ノ生れ出タ所ノ根源ニナル思想、「イデオロギー」ヲ主張スルト云フ點ニ付テ、私ハ非常ニ臆病：甚ダ失禮ナ言ヒ方デアリマスガ、臆病ナ感ガアル、今日斯ウ云フ激動期ニ於キマシテ、一番輿論ノ中心ヲ成スモノハ、私ハ青年知識層ダト思ヒマス、私ハ農村其ノ他ニモ最近屢々行キマスガ、農村ノ青年知識層ハ非常ニ勉強シテ居リマス、矢張り自分ノ判斷ノ據ツテ立ツ所ノ原理ト言ヒマスカ、思想的ナ原理、所謂「イデオロギー」、ソレヲ求メテ居ルノデアリマス、處ガ我ガ國ノ今日ノ現狀ニ於テ、「イデオロギー」ニ對シテ最も勇敢デアルノハ左翼ノ關士ノミ、是以外ニ於キマシテハ、殊ニ此ノ現實ニ仕事ノ

責任ヲ持ツテ居ラル、方面ニ於キマシテハ、其ノ點ニ於テ私ハ非常ニ臆病ダト思フ、是ガ私ハ輿論ヲ指導スル上ニ於テ最も御考ヲ願ハナケレバナシ、コトデハナイカト思フ、過日モ「マツカール」ノ何カ聲明ガアリマシテ、極ク抽象的ナ言葉デアリマシタガ、「イデオロギー」ノ問題ニ觸レタ其ノ記事ヲ非常ニ知識層ハ歡迎ヲ致シテ居ルト云フヤウナコトヲ新聞等ニモ書イテ居ツタヤウデアリマスガ、私ハ事實ノ處理ニ對シテソノナイ意見ノ表現ヲスルト云フバカリデナク、其ノ根柢ニナル矢張り思想ニ付テ、大膽率直ニ御述ベニナルコトガ宜イデハナイカ、河合厚生大臣等ハ最も其ノ點有能ナ先驅デアリマスカラシテ、矢張り斯ウ云フ國鐵ノ爭議等ノ場合ニハ、新聞、雜誌等ニ寄稿ヲサレテ、サウシテ政府ノ所信ヲ御述ベニナルコトガ必要デアアル、更ニ其ノ所謂資本家、經營者ノ側ニ於キマシテモ其ノコトガ私ハ必要デアルト思フ、サウシテ責任ノアル兩者ノ意見ガ堂々ト闘ハセラレマシタ時ニ、初メテ輿論ハ其ノ判斷ノ基準ヲ公平ニ得ルノ點ト私ハ思フ、地方等デ小工場ノ經營者デアリマスガ、矢張り工場主ガ理論家デアリマシテ、サウシテ自分ノ所信、自分ノ世界觀、人生觀ヲ率直ニ勞働者ノ前デ述べルト云フヤウナ所ハ、割合ニ兩者ノ意見、意思ガ疏通致シテ居リマシテ、多少勞働條件ノ上ノ問題ガアリマシテモ、アノ親密ナ話ガ分ル、今ハ困難ダガ、今後事情ガ好クナレバ大丈夫ダト云フヤウナ安心感ヲ持ツテ居ル、是ハマア瑣末ナ例デアリマスガ、私ハ輿論ノ指導ニ付キマシテ、モウ少シ當局ガ大膽率直ニ御述ベニナルコト、私ハ資本主義カ、社會主義カト

云フヤウナ、左様ナ粗雑ナ言ヒ方ガ必要ダト申スノデハナイノデアリマス、私ハ左様ナ粗雑ナ、大雜把ナ言ヒ方デ問題ハ解決スルノデハナイカト思ヒマス、今日ノ産業ノ再建ニ付キ、又日本民族ノ將來生キルベキ方針ニ付テ皆ソレハ、各自所信ヲ持ツテ居ル、ソレヲモウ少シ率直ニ御述ベニナルコトガ必要デアリマスガ、甚ダ失禮ナ質問デアリマスガ、私ハサウ云フコトガ輿論ヲ生ム上ニ非常ニ大切ダト思ヒマスノデ、御伺ヒ致ス譯デアリマス

○國務大臣(河合長成君) 只今御尋ノ點ハ、私共モウ至極同感デゴザイマシテ、大體戰爭中カラ戰後ニ掛ケマシラレテ居ツタコト云フ感シガ基礎ニナリマシテ、何デモ政府ノヤルコトハ宜シクナイトカ、或ハ反動的ダトカ云フヤウナ思想ガナカク、強イヤウデアリマス、ソレモ段々解ケテ來テ居ルト私ハ思フノデアリマス、解ケテ來ツ、アリマスノデ、結局輿論指導ニ向ツテ政府ガ勇敢ニ出ル時期ノ問題モ矢張り考ヘナクチヤナラヌ、ソノ、其ノ時期ニナツタシタト私ハ思フテ居リマス、ト云フノデ、元々現内閣ニ於テモ考ヘノ基調ハ決ツテ居リマス、良イモノハ良イ、惡イモノハ惡イト勇敢ニヤラナクチヤナラヌト云フコトノ所信ハ持ツテ居リマス、持ツテ居リマスガ、其ノ表現ノ方法及時期等ニ付キマシテハ、是ハ適當ナ時ニ、適當ナ方法デヤラナクチヤナラヌト云フコトヲ實ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレト、是ハマア辯明デアリマセヌガ、内閣成立以來日ガマダ淺クテ、其ノ間ニ御承知ノ通りニモウ百難交々至ルト云フヤウナ狀況ト、此ノ議會トノ爲ニ盡部忙殺

サレテ居ルヤウナ狀況デアリマス、其ノ爲ニ意ニ懸ケナガラ多少遲レテ居ル點モアリハセヌカト思フ、是ハ辯明ト云フ風ニ御聽キ下サツテハ困ルノデスガ、事實問題デアリマス、併シ兎モ角大體見當モ付イテ來テ居リ、良イコトハ良イ、惡イコトハ惡イト、勇敢ニ政府ノ所信ヲ發表シテヤツテ行クベキ時期ガソノ、來タト云フ風ニ考ヘテ精精是カラヤル積リデアリマス

○男爵山名義典君、モウツ是ハ度々蒸返サレタ問題デアリマスガ、生産管理ノ問題ニ付テ私ノ考ヲ申上ゲテ、厚生大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、私ハ生産管理ノ問題ハ、靜的ニ考ヘルト申シマスガ、冷靜ニ考ヘレバ、厚生大臣ノ御解釋ノ如クデアツテ、ソコニ一線ヲ引イテ社會秩序ヲ保持シテ行クコト云フ厚生大臣ノ御信念ノ出テ來ルコトハ、私ハ當然ダト思フノデアリマス、併シナガラ今日起ツテ居リマスル生産管理ト云フモノハ生産「サボタージニ」ト云フモノト關聯シテ、勞働組合ノ方デハ其ノ生産管理ト云フ思想ヲ是認シテ居ルノガ多數デハナイカト思フ、資本家ガサボツテ居ル、ダカラシテ我々ハ生産管理シテ、サウシテ國家産業ヲ一日モ停頓サシテハ相成ラヌト云フノガ、私ハ勞働組合側ニ於ケル總テデアルトハ申セルカ、申セナイカ分リマセヌガ、大多數ノ意向ハソコニアルノデハナイカト思フ、從ヒマシテ今日ノ生産管理ノ問題ヲ取扱ヒマスノハ、是ハ矢張り生産「サボタージニ」ト云フモノガ檢討サレテ、サウシテソレガナクナツテ來レバ自ラ私ハ生産管理ハナクナツテ來ルモノダ、斯様ニ考ヘテ居リマスガ、如何ナモノデアリマセウカ

○國務大臣(河合長成君) 生産管理ト生産「サボタージニ」トガ併シカ、混合シテ起ルヤウナ場合ハ勿論アリマスガ、ソレヲ止メタカラト云ツテ、生産管理ト云フコトガ、今迄ノ情勢デハ起ラナクツタハ言ヘマセヌ、言葉ヲ換ヘマスルト、從來起キマシタ生産管理ト云フモノハ、生産「サボタージニ」ノ原因トスル以外ノ原因デ起キテ居ルト云フコトハ私ハ認メテ宜イト思ヒマス、サウダカラ今御話ノ通りニ生産「サボタージニ」ノ點ニ付テ、經營者側ニ對シテ政府ガ積極的ナ方法ヲ執ツテ、サウシテ重要産業ニ對シテハ「サボタージニ」ヲヤラセヌト云フ點ニ付テ、極力今後方法ヲ執リマス、執リマスケレドモ、ソレデカ原因デアリナイト云フコトヲ私ハ認メテ居ル次第デアリマス、ソレデ生産管理ニ付キマシテハ、是ハ生産管理デアアルカナイカト云フ非常ニ「アンビギニ」ノ問題ガ時偶アリマスルノデ、ソコデ少シ問題ガ濁ルノデアリマスガ、併シ是ハ考ノ立テ方デ、私ハ寧ろ斯ウ思フ、財産權ノ侵犯ノ事實ガアルモノハ生産管理ナリト言ツテ宜イト思ヒマス、財産權侵犯ノ事實ガナイモノカ、或ハ承諾ニ依ツテ阻却サレルモノハ生産管理デハナイト思ヒマス、サウ云フ風ニ解釋シマスレバ、生産管理ハ總テ違法デアアル、正當デアリト云フコトハ確實ニ言ヘルト思ヒマス、サウ云フ線ニ沿ウテ今後生産管理ニ付テハ取締ツテ行ク積リデアリマス

○男爵山名義典君 結局ニ於キマシテ、此ノ法ノ運用ハ、私ハ政府ガ旺盛ナ政治力ヲ發動サレテ、サウシテ萬全ノ準備ヲサレナイトイケナイモノデアリ、又斯クサルベキデアルト思ヒマス、

○國務大臣(河合長成君) 生産管理ト生産「サボタージニ」トガ併シカ、混合シテ起ルヤウナ場合ハ勿論アリマスガ、ソレヲ止メタカラト云ツテ、生産管理ト云フコトガ、今迄ノ情勢デハ起ラナクツタハ言ヘマセヌ、言葉ヲ換ヘマスルト、從來起キマシタ生産管理ト云フモノハ、生産「サボタージニ」ノ原因トスル以外ノ原因デ起キテ居ルト云フコトハ私ハ認メテ宜イト思ヒマス、サウダカラ今御話ノ通りニ生産「サボタージニ」ノ點ニ付テ、經營者側ニ對シテ政府ガ積極的ナ方法ヲ執ツテ、サウシテ重要産業ニ對シテハ「サボタージニ」ヲヤラセヌト云フ點ニ付テ、極力今後方法ヲ執リマス、執リマスケレドモ、ソレデカ原因デアリナイト云フコトヲ私ハ認メテ居ル次第デアリマス、ソレデ生産管理ニ付キマシテハ、是ハ生産管理デアアルカナイカト云フ非常ニ「アンビギニ」ノ問題ガ時偶アリマスルノデ、ソコデ少シ問題ガ濁ルノデアリマスガ、併シ是ハ考ノ立テ方デ、私ハ寧ろ斯ウ思フ、財産權ノ侵犯ノ事實ガアルモノハ生産管理ナリト言ツテ宜イト思ヒマス、財産權侵犯ノ事實ガナイモノカ、或ハ承諾ニ依ツテ阻却サレルモノハ生産管理デハナイト思ヒマス、サウ云フ風ニ解釋シマスレバ、生産管理ハ總テ違法デアアル、正當デアリト云フコトハ確實ニ言ヘルト思ヒマス、サウ云フ線ニ沿ウテ今後生産管理ニ付テハ取締ツテ行ク積リデアリマス

○國務大臣(河合長成君) 生産管理ト生産「サボタージニ」トガ併シカ、混合シテ起ルヤウナ場合ハ勿論アリマスガ、ソレヲ止メタカラト云ツテ、生産管理ト云フコトガ、今迄ノ情勢デハ起ラナクツタハ言ヘマセヌ、言葉ヲ換ヘマスルト、從來起キマシタ生産管理ト云フモノハ、生産「サボタージニ」ノ原因トスル以外ノ原因デ起キテ居ルト云フコトハ私ハ認メテ宜イト思ヒマス、サウダカラ今御話ノ通りニ生産「サボタージニ」ノ點ニ付テ、經營者側ニ對シテ政府ガ積極的ナ方法ヲ執ツテ、サウシテ重要産業ニ對シテハ「サボタージニ」ヲヤラセヌト云フ點ニ付テ、極力今後方法ヲ執リマス、執リマスケレドモ、ソレデカ原因デアリナイト云フコトヲ私ハ認メテ居ル次第デアリマス、ソレデ生産管理ニ付キマシテハ、是ハ生産管理デアアルカナイカト云フ非常ニ「アンビギニ」ノ問題ガ時偶アリマスルノデ、ソコデ少シ問題ガ濁ルノデアリマスガ、併シ是ハ考ノ立テ方デ、私ハ寧ろ斯ウ思フ、財産權ノ侵犯ノ事實ガアルモノハ生産管理ナリト言ツテ宜イト思ヒマス、財産權侵犯ノ事實ガナイモノカ、或ハ承諾ニ依ツテ阻却サレルモノハ生産管理デハナイト思ヒマス、サウ云フ風ニ解釋シマスレバ、生産管理ハ總テ違法デアアル、正當デアリト云フコトハ確實ニ言ヘルト思ヒマス、サウ云フ線ニ沿ウテ今後生産管理ニ付テハ取締ツテ行ク積リデアリマス

○國務大臣(河合長成君) 生産管理ト生産「サボタージニ」トガ併シカ、混合シテ起ルヤウナ場合ハ勿論アリマスガ、ソレヲ止メタカラト云ツテ、生産管理ト云フコトガ、今迄ノ情勢デハ起ラナクツタハ言ヘマセヌ、言葉ヲ換ヘマスルト、從來起キマシタ生産管理ト云フモノハ、生産「サボタージニ」ノ原因トスル以外ノ原因デ起キテ居ルト云フコトハ私ハ認メテ宜イト思ヒマス、サウダカラ今御話ノ通りニ生産「サボタージニ」ノ點ニ付テ、經營者側ニ對シテ政府ガ積極的ナ方法ヲ執ツテ、サウシテ重要産業ニ對シテハ「サボタージニ」ヲヤラセヌト云フ點ニ付テ、極力今後方法ヲ執リマス、執リマスケレドモ、ソレデカ原因デアリナイト云フコトヲ私ハ認メテ居ル次第デアリマス、ソレデ生産管理ニ付キマシテハ、是ハ生産管理デアアルカナイカト云フ非常ニ「アンビギニ」ノ問題ガ時偶アリマスルノデ、ソコデ少シ問題ガ濁ルノデアリマスガ、併シ是ハ考ノ立テ方デ、私ハ寧ろ斯ウ思フ、財産權ノ侵犯ノ事實ガアルモノハ生産管理ナリト言ツテ宜イト思ヒマス、財産權侵犯ノ事實ガナイモノカ、或ハ承諾ニ依ツテ阻却サレルモノハ生産管理デハナイト思ヒマス、サウ云フ風ニ解釋シマスレバ、生産管理ハ總テ違法デアアル、正當デアリト云フコトハ確實ニ言ヘルト思ヒマス、サウ云フ線ニ沿ウテ今後生産管理ニ付テハ取締ツテ行ク積リデアリマス

此ノ法案ノ中ノ問題ニナツテ居リマス
三十日ノ猶豫アリマス。トカ、官吏ノ
罷免禁止トカ云フヤウナ、衆議院ニ
於テ論争サレマシタ。論争ノ如キハ、私
ハアラズモガナノ條文ヲ思フ。此ハ
一兩年ハ三十日ノ猶豫ヲトカ、官吏ノ
罷免ヲ抑制スル。トカ云フヤウナ消極的
ナコトデハ駄目。ト思ヒマス、ソコデ
自分ノ管轄下ノ官吏ニ付テハ、爭議ド
コロカ、立派ナ勞働組合ヲ作ラシテ行
ク。ト云フヤウナ、私ハ積極的ナ政治性
ガナケレバナラヌ。ト思フ。三十日ノ猶
猶豫ヲ限ツテ公益事業ノ爭議ヲ豫期スル
ト云フヤウナコトデハナクシテ、公益
事業ハ立派ナ合理化サレタ企業トシテ、
他ノ産業ノ模範ニナリ、平和日本ノ産
業ハ斯クアル。ト云フコトガ世界ニ誇示
出來ルヤウナモノニナルヤウニ、此ノ
一兩年ハ政府ガ積極的ニ努力サレナケ
レバナラヌ。ト思ヒマス、此ノ法律ハ、
私ノ考デハ、是ハ勞資ノ關係ガ正常ナ
關係ニアリ、サウシ個性ガ極メテ確立
シテ居ル歐米ニ於テ冷靜ニ運用サレタ
時ニ、是ハ初メテ法ノ眞價ヲ發揮スル
ノデアリマシテ、我が國ノヤウナ今日
ノ混亂期ニ於テハ、寧ロ政府ハ
一定ノ標準デアル法ヲ超越シテ、政治
的ナ努力ニ依ツテ日本ノ産業ヲ、調停法
等ハ何處ニアツタカ忘レテシマフ。ト云
フヤウナ立派ナモノニナルベキ意氣込
ミヲ以テ御臨ミニナラナケレバナラヌ
ト考ヘテ居リマス、私ノ申シ上ゲマシ
タ調停委員會ハ此ノ際御作リニナツテ
ハドウカ。ト云フヤウナコトモ、ソレノ
一ツノ第一歩トシテオヤリニナル。ト云
フコトハドウカ。ト考ヘテ居リマス、ソ
レ等ノ點ニ付テ一ツ積極的ナ努力ヲ御
願ヒシタイ。ト思フ。貴族院大臣ト司法大臣
○中山太一君 閣下國務大臣ト司法大臣

ニ御伺ヒシタイノデアリマスガ、勝國
務大臣ニハ御出席ノ際何フ。トシテ、司
法大臣ハノ質問ハ厚生大臣ヨリ然ルベ
ク御傳ヘ。ト云フ。後ノ機曾ニモ御答辯
願ヒタイ。ト思ヒマス、ソレデハ只今ノコ
トニ關聯シテ御伺ヒシマスガ、與論ノ
指導ト云フ問題ト關聯シテ、生産管理
ガ行ハレテ居ル、其ノ對照トシテ生産
「サボタージエ」ガアルカラ當然デア
ル、已ムラ得ナイモノデアルト云フコ
トニナツテ居ル、勞働組合等ノソレガ
今ノ信念デアリ、又認識デアルト云フ
ヤウナ厚生大臣カラ極メテ明快ナ御答
辯ガアリマシタ。ケレドモ、實際的ニ生
産「サボタージエ」ガ行ハレテ居ルデ
アリマセウカ、行ハレテ居ル。トスレバ
ドウ云フ原因デアリハレテ居ル。トカ、政
府ノ政策ニ起因スル爲ニ産業家ガ事業
ヲシヨウトシテモ出來ナイ状態ナイ
カ、或ハ資材ガ不足スルモノカ、石炭ガ
全然供給ガナイカラヤウナデアアル
カ、産業家ガ生産ヲ停止スル。ト云フコ
トハアリ得ル。等ガナイ、之ヲ戰術基礎
トシテ所謂勞働爭議ノ具ニシテ社會ニ
宣傳シテ居ル、産業家モ之ニ對シテ反
駁シナイ、政府モ之ニ對シテ適當ナ關
明ガナイ、サウシテ一方ニハ如何ニモ
資本家ガ意欲ケテ居ルガ如ク誤解サレテ
居ル、私ハ今日ハドウシテ復興シヨウ
カ、ドウシテ再建シヨウカ。ト血ミドロ
ニナツテ居ルノガ現状デハナイ。トカ、思
フ、ソコニ政府ノ政策ニ依ツテ補償打
切、其ノ他ノ色々ナ事件ガアツテ、其
ノ始末ニ對シテモ困ル、ソレデモ猶起
上ツテヤラウトスルヤウナ旺盛ナ生産
意欲ヲ以テ進ミツ、アルノガ、私ハ全
體人ノ眞相ヲ信ジテ、如何ニモソ
レガアル。ラシク考ヘラレ。ルノハ、私甚

ダ遺憾至極。ト思ヒマスガ、政府當局
ノ仰ツシャルヤウニ。ト云フ。如キ不都合
ナ者ガ實際アル。ト云フコトデアレバ、
ソレヲ御聽カセ願ヘ。ト云フ。非常ニ結構
ト思ヒマス
○國務大臣(河合良成君) 是ハ實際ノ
産業全體ノコトニ關シマシテハ商工省
ノ方デ一番多ク分ル、其ノ外色々各省
ノ關係ガアリマシテ非常ニ廣汎ニ互ルコ
トデアリマス。カラ、私ハ茲ニ全體ニ付
テ、是ハ斯ウデ、ア、ダ。ト云フコトヲ
斷定シテ申上ゲル。譯ニハ行キマセヌ、
ガ兎モ角モ全國ニ互ツテ多クイコトデ
アリマス。カラ、色々ノコトガ矢張り非
常に多クイ中ニ起キルト云フコト
ハ、是ハ御認ミニナラヌ。トイカヌ。ト思
フ、ソレデ今日ハ大體資本家「サボ」ト
云フモノヲ意思ガアツテオヤリニナツ
テ居ル。カドウカ。ト云フ問題デアリマス
ガ、大部分ノ者ハ、假ニ「サボ」ノ事實
ガアリマシテモ、ソレハ採算ガ引合ハ
ナイ。トカ、或ハ石炭ガ不足。トカ、資
材ガ不足。トカ、色々サウ云フ。今日ノ
刻下ノ現状カラ來テ已ムラ得ズ生産ヲ
促進スル。譯ニハ行キナイ。ト云フ事實ガ大
多數。ト云フコトハ、私モ認ミニマス、
併シナガラ非常ニ多數ノ中ニハ絕對ニ
不心得ノ者ガナイ。トハ私ハ申シマセ
ヌ、ト申ス。ハ矢張り工場ヲ打ツチヤ
ツテ逃ゲ出シタヤウナ例モアル、又場
合ニ依リマシテハ、是ハ仕事スル。ト云
リモ資材ヲ其ノ儘ニ持ツテ居ツテ値上
リヲ待ツ。タガ宜イ。ダラウト云フヤウナ
例モアツタ。ト云フコトヲ聽イテ居リマ
ス、斯様ナコトデ、救ノ多ク全國ニ互
ツテノコトデアリマス。カラ、一々ド
ウノト云フコトハ私モ申上ゲル。譯ニハ
行キマセヌガ、總テノ産業ニ惡意ガアル
「サボ」ト云フモノハ一ツモナイ。トダ

云フ風ノ斷言モ、私ニハ出來ヌ。ト云フ
ヤウナ事情ニナツテ居リマス、併シ先
ヅ産業ノ全體カラ觀テ、多クノモノハ
資材ナリ、原料ナリノ不足、或ハ採算
ノ不引合。ト云フヤウナコトガ重大ナ原
因ニナツテ居ル。ト云フコトハ私モ認メ
ル。次第デアリマス
○中山太一君 資材、原料ノ不足ノ爲
ニ生産ガ出來ナイ。ハ決シテ生産「サ
ボ」トハ言ヘナイ。ト思ヒマス、勤勞者
デモ資材ガ廻ラナイ、或ハ機械ガ破損
シタ。ト云フ時ニ手ヲ休メタ。ト云フノ
ハ、決シテ勤勞者ガ「サボ」ワスル。トデ
ナイ。ノデス、ヤラウトシテモヤレナ
イ。ノデアリマス、之ヲ工場主ハ勤勞者
怪シカラヌ。トシテ所謂爭議ニ入ツタヤ
ウナ風トカ、怠慢デヤツテ居ル。ト云フ
ヤウニハ考ヘナイ。ノデアリマス、國家
ノ斯ウ云フ現状ノ下ニ、資材、原料ノ
不足ノ爲ニ生産「サボ」ハサウ云フコトデ
ナイ。ト云フコトハ、ハツキリサウ云フ
言葉ヲ使フコトガ適當デナイ、不當デ
アル。ト云フコトハ、政府當局ニ於テ今
後色々ノ問題ヲ混亂サセナイ。爲ニモ分
類シテ御考ヘ。譯ニハ行キナイ。ト云フ
マズ、又物價ノ問題、引合ハヌ。ト云フ
ノデ不心得ニ止メテ居ル者モアル。カモ
知レマセヌ、是ハ利ヲ追フ。爲ニ、暴利
ヲ得ル。爲ニ、利己的ナ考ヲ以テヤル者
ハ極シカラヌ。ト云フコトデアル。是ハ今
ノ御説ニ當ル。コトデアル、處ガ政府
ノ政策、所謂官價ノ實際ヲ認識シナイ
爲ニ不當ナ價格ヲ決メテ、事業經營ス
レバ遂ニ破綻スル、勤勞者モ遂ニ解雇
シナケレバナラヌ。ト云フコトニナル、
生産スル。爲ニ事業ガ衰微スル、高價原
料、材料ヲ持チナガラ生産品ハ其ノ何
分ノ一カニナル。ト云フヤウナ、斯ウ云
フ矛盾シタ物價ノ決メデア。ル時ハ、是

ハ政府ノ責任デアリマス。カラ政府當局
ガ之ニ對シテ反省シ、速ニ改善シテ、
産業ノ正シク經營サレルヤウニ。是正サ
レ。ルコトコソ至當ト思ヒマス、其ノ原
因ヲ究メズニ、唯サウ云フコトヲシ
テ、爭議ノ對象ニナルヤウナ問題ノ眞
相ヲ究メズ放任サレテ居ル。コトハ、好
マシクナイ。コトノヤウニ存ジマス、生
産管理ニ對シテハ極メテ明快ナ御判斷
ヲサレテ居リマス。厚生大臣デアリマ
ス。カラ、此ノコトニ對シテモ引合ハヌ
ト云フコトハ一面、色々其ノ内容ヲ見
ラレバ、政府ノ重大ナ責任ニ於テ是
ガサウ云フヤウナコトニナツテ居ル。コ
トモアラウト。ト思ヒマス、又一部ハ關デ
高イモノヲ「ドク」造ツテ賣ツテ居
タヤウナ不心得ノ者ガアリ、又出來
ル。爲ニ生産ニ進マウトスル者ガ全國
多數アル。ノデアリマス、爭議ノ對象ニナ
ル、或占領ニ等シイヤウナコトヲシテ
生産管理ヲ行フ、如何ニモ社會ヲ救
フ。ルニ等シイ、國家ノ爲ニハ生産ハ一
日モ放任スル。コトガ出來ナイ。カラ、國
家社會ノ爲ニ生産ヲ管理スル。モノナ
リ、斯クノ如ク欺瞞的ナル言葉ヲ以テ
臨ム。コトハ宜クナイ、ソレガ結果ハド
ウカ。ト云フ。ト、眞ニ生産ニ貢獻シテ居
ルノデハナク、一ツノ戰術デア。ル、之
ニ多クノ人ガ惑ハサレ、サウ云フコト
ニ向ツテ行カレタ時ニハ由キキ問題
デアリマス。カラ、只今希望ノ御意見モ
アツタヤウデアリマスガ、政府ハ其ノ
眞相ヲ常ニ國民ニ了解サスヤウニ、適
當ニ輿論ニ誤リナイヤウニシテ戴ク
ト云フコトハ極メテ緊要ノコトノヤウ
ニ存ジマス、今色々ノ非常ニ堅實ガ方
デサヘモ生産「サボ」ガ如何ニモ盛ン
ニ行ハレテ居ルヤウニ御考ヘニナツテハ
居ラヌ。カト考ヘラレ。ルノデ、是デハ成

ル程輿論ハ一部ノ無理ナコトデモ尤モ
ズ、其ノ時ニ、最近起ツタ鐵道ノ「セネ
スト」等デモ、政府ノ今ノヤラレル程
度アレバ、ドナラガ正シイカハ、輿
論ハ數ニ於テ同様ノ結果ヲ意味スル
ガ、私ハ甚ダ不安ト思ヒマスノデ、
今ノ事實ニ付テ質問シタヤウナ譯デ
アリマス、厚生大臣ハ、今少シ積極的
ニ健全ナル輿論ヲ喚起スル、眞ニ公正
ナル健全ナル輿論ヲ喚起シテ行クト云
フコトニ付テ、何カ良イ積極的ノ御考
ヲ御持テデアリマセウカ

○國務大臣(河合良成君) 新憲法ノ出
來マスルヤウナ情勢ニナツテ居リマス
ルカラ、此ノ下ニ於テ健全ナル民主主
義ト云フモノノ展開ニ向ツテ政府ハ積
極的ニ努力ヲシテ行ク積リデアリマス
○男爵山名善藏君 只今ノ問題ニ付テ
中山委員カラ色々御話ニナツテ、大體
是ハ認定ノ問題ニナルヤウデアリマス
ス、私ノ申上ゲタコトニ端ヲ發シテ居
リマスノデ、モウ一度私ノ申上ゲタ意
味ヲ敷衍シマシテ、當局ノ御所信ヲ伺
ヒタイト思ヒマス、我が國ノ産業ハ明
治以後、明治ノ後半、大正ニナリマシ
テカラ第一次世界戰爭以後急速ニ發展
致シマシタ、サウ云フ焦リカラデアリ
マセウガ、我が國ノ産業ハ何方カト云
フト、工場ノ經營ニ力ヲ入レテサウシ
テ生産工程ヲ合理化シテ行ク、生産費
ヲ下ゲテ行クト云フヤウナ地道ナ努力
ノ拂ハレテ居リマシタ分野ハ極メテ少
ナカッタヤウニ思フ、是ハ戰爭前ノコ
トデアリマス、サウシテ多クハ、私ノ
見聞ヲ以テシマシテモ、此ノ工場ガト
思ハレルヤウナ所ガ材料ノ賣買、製品
ノ賣買ニ所謂「スベキ」レシヨ」デ
ヤツテ行ク、サウ云フコトガ事業經營
ノ基礎ニナツテ居ルト云フコトガ私ハ

戰爭前ノ狀況デアツタト申シテモ大シ
テ過言デナイ、多クノ經濟學者モ左様
ニ論定シテ居ルヤウニ私ハ思フノデア
リマスガ、是ガ太平洋戰爭ニナリマシ
テカラハ一層ヒドクナリマシテ、地道
ナ生産ヲ一生懸命ニヤツテ行キマスヨ
リモ、軍需省デアルトカ設備費團デア
ルトカ、ソコヲ若イ軍人等デサウ云
フ生産ニ關係シテ居リマスル者ト聯絡
ヲ執リマシテ、サウシテ安イ資材ヲ出
來ルダケ深山抱キ込メテ行クト云フヤ
ウナ、サウ云フアリ得ベカラザルコト
ガ頻々トシテ起ツテ居ツタ事實ハ、私
ハ之ヲ蔽フコトガ出來ナイト思ヒマ
ス、ソレガ終戦後此ノ混亂ニナリマシ
テ、物價ノ値上リ、只今中山委員御話
ニナリマシタヤウニ、生産スルヨリ
モ材料ヲ横流シテシマフ方ガ宜イ、生
産ヲスレバ寧ろ赤字ガ出ルト云フヤウ
ナ狀況ニナツテ參リマシタノデ、一層
左様ナ狀況ガ拍車ヲ掛ケラレテ來タト
云フコトヲ私ハ認メザルヲ得ヌト思
ヒマス、其ノ原因ガ資本家自身ノ惡意
ニアルカ、或ハ又四圍ノ狀況、客觀的
ナ條件ガ斯様ニセザルヲ得ナカッタ、
ソレニドコ迄政府ノ責任ガアルカ、是
ハ別問題ニ致シマシテ、暫ク間ハヌト
致シマシテモ、左様ナ事實ガ私ハ頻々
起ツタコトヲ認メザルヲ得ナイ、労働
者ノ方カラ申シマスナラバ、其ノ原因
迄追究致シマシテ、サウシテハ已ム
ヲ得ナカッタ、アレハドウデアツタト
云フヤウナ冷静ナ判斷ヲ下シ得ルノ
ハ、是ハ恐ラク少數ト云フカ、困難デ
アル、多クハ左様ナ現象ヲ取
リマシテ、資本家ノ「サボタージュ」、
中ニハ露骨ナ惡意ガ表明サレタ場合モ
アルノデアリマス、左様ナコトヲ労働
者側ガ認識シテ、サウシテ資本家ノ

「サボタージュ」、是デハイカヌカラ自
分達デ生産ヲヤル、其ノ生産ノ成績ガ
暴ツタカドウカハ是ハ又別問題ト致シ
マシテ、左様ニ私ノ御伺ヒシマシタノ
ハ、企業ノ「サボタージュ」ト生産管理
トハ關聯シテ此ノ際ハ考ヘナケレバナ
ラヌト思フ、之ヲ目茶苦茶ニ、労働組
合ハ怪シカラヌト云フコトニナリマス
ト、私ハ政治的ニ考ヘマシテ、今日ノ
狀況ヲ安定サスノニ極メテ拙イコトデ
アル、寧ろ兩方ノ立場ヲ認メテ、サウ
シテ左様ナ原因ダケヲ除去スベク努力
ヲサレルト云フコトノ方ガ大切ナノデ
ハナイカ、徒ニ判定ヲ下シテ前ノ方
ハ怪シカラヌト云フヨリモ、先ニ斯様
ナ事實ヲ阻止スル、左様ナ事實ヲ無ク
シテ行クト云フコトノ方ガ必要ナノデ
ハナイカ、左様ナ見地カラシテ、生産
管理ト云フモノヲ國家秩序ト云フ觀點
カラ論ジマスルコトハ當然デアリマス
セウケレドモ、此ノ際ハ左様ナコトヲ
高調スルコトハ多少手心ヲ加ヘルコト
ガ政治的デハナイカト云フコトヲ伺
タノデアリマス、大體只今ノ御話ヲ伺
ヒマシテ、私モ何トカ此ノ點ヲ積極的
ニ政府ニ於テ調査ヲ御進メニナリ、眞
相ヲ發表サレテ、同時ニ生産「サボタ
ージュ」ノナクナリマスヤウニ御處置
ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ガ私ハ大切
ナコトト思ヒマス

○中山太一君 労働爭議ニ對スル暴
行、脅迫、威嚇、尾行、追蹤、或ハ交
通遮斷等ノ如キコト、又ハ其ノ爭議ニ
加盟シテ居ルヤウナ者ノ歸宅ヲ阻止スル
トカ、又其ノ従業員ノ家族ニ面會ヲ強
要スルコト云フヤウナコト、又ハ侮辱ヲ
スル、惡戯ヲスル、サウ云フヤウナコ
ト等ガ行ハレテ居ル場合モアリマス
ガ、斯ウ云フノハ厚生省トシテハドウ

云フ風ニ御取扱ニナルカ、又司法當局
トシテハ、爭議手段トシテノ正當ナモ
ノデハナイト思ヒマスガ、斯ウ云フモ
ノハドウ云フ取締方法ヲ行ハレマス
カ、御意見ヲ御伺ヒ致シタイ

○政府委員(吉武憲市君) 刑法ノ適用
ニ付キマシテハ、司法省カラ責任アル
御答スル方ガ適當カト思ヒマスル
ガ、一應私共ノ考ヲ申上ゲマスルト、
暴行、脅迫ノヤウナ行爲ハ、是ハ良ク
ナイト思ヒマス、唯併シ爭議ト云フモ
ノハ或ル程度團結シテ、其ノ主張ヲ
迫ルノデアリマスルカラ、ソレヲ爭議
デナイ平時ノ觀念デ考ヘマスルト云フ
ト、營業妨害等ニナルコトモアルノデ
アリマス、併シナガラソレヲ一々取立
テテ參リマスルナラバ、爭議ト云フモ
ノハ行ヒ得ナイコトニナリマスルノ
デ、何處ノ國デモ正當ナル爭議行爲ハ
認メラレテ居リマス、ソレハ程度ノ問
題デアリマスルノデ、今御話ガアリマ
シタヤウニ、正當ナ爭議ハ認メラレル
カラト云フテ暴行、脅迫ニ及ブト云フ
コトハ、是ハ正當ナ爭議行爲ヲ越エタ
行爲デアルト私ハ考ヘテ居リマス

○中山太一君 爭議ノ時ニ、個人デア
レバ不當デアルガ、爭議ガ團體的ニ行
ハレル爲ニ、或程度ハ之ヲ認メナケレ
バ労働爭議等ハ行ヒ得ナイト云フヤウ
ナ御意見ノヤウニ聞エマシタ、若シソ
レデアルトスレバ英米ノ何カニ於テ
ハ斯ウ云フ解釋ヲ下シテ居ルヤウデア
リマスガ、單獨ニ見テ其ノ行爲ガ犯罪
ヲ構成スル、暴行、脅迫、其ノ他一般
ノ犯罪行爲デアルナラバ、ソレガ爭議
行爲ナルガ故ニ、不問ニ付セラレ又處
罰ヲ免レルコトガナイ、此ノ單獨デア
ツテモ其ノ行爲ガ犯罪ヲ構成スル行爲
デアルナラバ、ソレガ團體デアル所謂

爭議行爲デアルト云フ故ヲ以テ、ソレ
ガ不問ニ付セラレルコトハナイ 處罰
ヲ免レルコトハナイト向フバ規定シテ
居リマス、日本デハサウ云フ時ハ、個
人ノ場合ニハ犯罪ニナルガ、爭議行爲
ノ時ニハ、是ハ不問ニ付シ、又ハ處罰シナ
イト云フヤウナ考ヘデアリマセウカ、
是モ併セテ御伺ヒ致シタイ

○政府委員(吉武憲市君) 只今私ガ申
上ゲマシタノハ、個人デ犯罪ニナル行
爲ヲ、組合ナリ團結デヤツタラ犯罪ニ
ナラナイト云フコトハ申上ゲタノデハ
ゴザイマセヌ、今申シマシタヤウニ暴
行、脅迫ノヤウナ行爲ハ、個人デアリ
マシテモ犯罪ニナリマセウシ、團體
デアリマシテモ犯罪ニナルドラウト思
ヒマス、唯其ノ爭議行爲ト云フモノハ
集團ヲ以テヤル行爲デアリマスカラ、
普通ノ場合、爭議デアリ場合ニ、今ノ
ヤウニ「ストライキ」ヲヤツテ仕事ヲシ
ナイト云フヤウナコトニナリマスレ
バ、ソレハ普通ノ觀念カラ言ヘバ一ツ
ノ營業妨害ニナルト思ヒマス、多數ノ
者ガ威力ヲ以テサウシテ仕事ヲシナイ
ト云フコトハ、普通ノ觀念カラ言ヘバ
刑法ニ觸レルト思ヒマスケレドモ、併
シジレガ爭議行爲トシテヤラレル場合
ハ、ソレハ營業妨害ニナラナイト云フ
ノガ各國共通念ニナツテ居ルノデアリ
マス、ソレヲ私ハ申上ゲタノデゴザイ
マス

○中山太一君 今ノ御説明デ今普通ノ
爭議行爲トシテ認メラレル程度ノモノ
ヲ御話ニナツテ居ルト云フ意味デ解釋
シテ宜イト思ヒマス、ソレハ爭議權ガ
認メラレ罷業權迄認メラレテ居ルノデア
リマスカラ、當然ノ事デアリ、御説明
ハ御尤モデアリマス、委員長ニ御願ヒ
シテ置キタイト思ヒマス、國務大臣

ニ御質問申上ゲタイコトノ要點ダケヲ申上ゲタ方ガ宜シウゴザイマセウカ、或ハ今申サナイデ、其ノ時ニ致シタ方ガ宜シウゴザイマセウカ

○委員長(男爵渡邊修二君) 諸國務大臣ニハ午後ニハ何トカシテ出席シテ戴キタイト思ツテ居リマスカラ、其ノ時ニ仰シツテ戴イタ方ガ御便利カト思ヒマス

○中山太一君 ソレデハ私一應質問ハ是デ打切リマス

○吉田久君 先程山名男爵カラ御質問ガゴザイマシタガ、私ハ之ヲ拜聴シテ、大變ニ敬ベラレル所ガ多カッタコトヲ感謝スルノデアリマス、同男爵ガ仰セラレタヤウニ、本案ニ於ケル調停及仲裁ガ第三者委員ノ向背ニ依ツテ決セラレルト云フコトハ誠ニ明カナコトデアアルト思ヒマス、詰リ第三者委員ガ「キヤスチングボート」ヲ握ツテ居ル、使用者側ノ委員及勞務者側ノ委員、同數ノ委員ガ出マシテ、ソレニ第三者委員ガ加ハル、第三者委員ノ數ハ本案デハハツキリサレテ居ラヌヤウデアリマスガ、其ノ數ヲドウ云フ風ニ致スノデアリマスカ、是ハ餘程重大ナ事柄デアルト考ヘテ居リマス、例ヘバ使用者側ノ委員五名、勞務者側ノ委員五名、ソレニ第三者委員ハ一名デモ宜イカ、二名デモ宜イカ、サウ云フコトニナリマスト第三者委員ト云フモノノ權威モ無クナリマスシ、又其ノ向背ト云フ非常ニ微妙ナ關係ヲ持ツテ居ルノデ、外部カラハ危懼ノ念ヲ以テ窮ハレルコトニナリマシテ、非常ナ心配ナ結果ヲ見ルコトヲ思フノデアリマス、左様ナ譯デ、第三者委員ノ此ノ數ヲドウ云フ風ニスルノカ、其ノ數ハ勞働委員會ノ會長ノ自由裁量ニ任セテ置クノデアアルカ

ト云フコトハ、是ハ餘程重大ナコトト思ヒマスガ、其ノ點ハ姑ク措キマシテ、兎モ角モ第三者委員ノ向背ニ依ツテ調停案モ決マルシ、又仲裁モ裁定モ決マルコトニナルノデアリマスカラシテ、此ノ第三者委員ト云フモノハ、餘程シツカリシテ外部カラ動カサレナイ存在デナケレバナリナイト思フノデアリマス、ソコデ第三者委員ヲドウ云フ風ニシテ決メルカト云フコトガ、實際問題トシテ大切ナコトニナツテ來ル、此ノ點ニ付テ本案ガドウ云フ風ナ考ヲ以テ立案セラレテ居ルノデアアルカ、實ハ甚ダ不明デアツタノデアリマス、此ノ點ヲ御指摘サシマシテ、政府ノ所信ヲ質サレマシタコトハ、私非常ニ結構デアツタト存ズルノデアリマス、私ハ前回ニ、第三者委員ノ存在ガ非常ニ大切デアアル、第三者委員ハ外部カラ動カサレナイ存在デナケレバナラヌ、サウデナケレバ爭議ノ裁定モ調停モ、亦仲裁モ決シテ立派ナモノハ出來ナモノガ出來ナイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、其ノ趣意ハ要スルニ、第三者委員ガ外部カラ動カサレル心配ガアルト云フ點カラ主トシテ申上ゲタノデアリマス、勞務者側ニ致シマシテモ、又使用者側ニ致シマシテモ、第三者委員ノ向背ニ依ツテ事ガ決マルト云フコトニナリマスレバ、ドウシテモ抱込ミ誘導ト云フコトガ行ハレルト思フノデアリマシテ、此ノ抱込ミ誘導ヲ排シテ毅然トシテ其ノ職務ヲ行フ立派ナ第三者委員ト云フモノハ、ドウシテ實際ニ得ラレルデアラウカト云フコトニ考ヘ及ビマスルト云フト、本案ノ實際ニ此ノ運用ト云フコトニ多大ノ不安ヲ感ズルノデアリマス、私ハ主トシテ

此ノ見地カラシテ、本案ノ調停機關ハ、調停委員會ヲシテ調停機關ヲシムルト云フコトヨリハ、寧ロ裁判所ヲシテ其ノ調停機關ヲシムルコトガ相當デアアル、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、使用者側ニモ屬シナイ、又勞務者側ニモ屬シナイ第三者、其ノ立派ナ第三者ト云フモノヲ公平ニ求メルナラバ、何處ニ求メタシ宜シデアリマセウカ、私ハ甚ダ自分ノ我田引水ノヤウニ取ラレルカモ知レマセウガ、結局ハ此ノ裁判所ト云フ風ナ所ニ落著カセルノガ宜イノデハナイカト想フノデアリマス、資本者側ニモ屬シナイ、所謂使用者側ニモ屬シナイ、勞務者側ニモ屬シナイ立派ナ動カサレナイ、力ノアル、正シイ第三者ト云フモノノ委員、是ハ何處ニ求メルカ、實際問題ト致シマシテ是ハ容易ナコトデナイト思フノデアリマス、左様ナ點カラ致シマシテ、私ハ前ニ本案ノ調停機關ハ之ヲ裁判所ニ移シタラドウカト云フコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、又裁判所ト致シマシテハ、私ハ最高裁判所ニ屬セシメテハドウカト云フ位ニ考ヘテ居ルノデアリマス、新憲法ニ於キマシテハ、最高裁判所ノ判事ハ國務大臣ト同等ノ資格ノアル立派ナ人ヲ以テ組織サレルノデアリマス、最高裁判所ノ長官ハ總理大臣ト同地位ノ人ヲ以テ充テルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、此ノ最高裁判所ノ裁判官ヲシテ勞働爭議ノ結局ノ調停機關ニ當ラシメルト云フコトニシタナラバ、私ハ立派ナ調停仲裁ガ出來ルト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、處ガドウモ從來斯ウ云フ風ナ案ヲ拵ヘラレル時ニ、裁判所ニ持ツテ行クト云フコトニ付テ、行政官廳ハドウモ面白クナイト云フヤウナ考ヘ

ヲ持ツテ居ラレルノデヤナイカト云フ考ヘヲ私ハ邪推カモ知レマセウガ、抱イテ居ルノデアリマスガ、或ハ本案モサウ云フヤウナコトデ裁判所ヲ「ロツクアウト」シテ居ラレルノデナカラウカト云フコトヲ、私ハ或ハ邪推カモ知レマセウケレドモ、サウ云フ風ニモ考ヘテ居ルノデアリマス、果シテ邪推ナラバソレデ結構デアリマスガ、若シサウデナイトシマスレバ、是ハ一ツ矢張り思ヒ直シテ戴キタイト云フコトヲ切望スルノデアリマス、本案ガ立派ナ法律トシテ社會ニ出マシテ、サウシテ勞働ノ義務ヲ立派ニ解決スルコトニ役立ツ法律トシテ、私ハ之ヲ世ノ中ニ出シタイト云フ一念カラ致シマシテ、前回ヨリ卑見ヲ繰返シテ居ルヤウナ次第デアリマス、只今山名男爵ニ對スル御説明ニ示唆ヲ得マシテ、更ニ所見ヲ繰返シテ各位ノ御熟考ニ懇ル次第デアリマス

○中山太一君 チョット速記ヲ止メテ戴キマシテ、當局ニ御尋ラシタイト思ヒマスガ、宜シウゴザイマスカ

○委員長(男爵渡邊修二君) 速記ヲ止メテ

(速記中止)

○委員長(男爵渡邊修二君) 速記ヲ始メテ下サイ、休憩ヲ致シマス、午後一時カシ始メマス

午前十一時四十三分休憩

午後一時二十一分開會

○副委員長(子爵高木正得君) 是ヨリ午前ニ引續キ開會致シマス、只今委員長ハ憲法委員會ニ臨マレテ御退席中デアリマスノデ、私ガ此ノ席ニ著キマス

○中山太一君 諸國務大臣ニ御尋ネ申上ゲマスガ、只今ノ產業界ハ勞働賃銀

ノ値上、又ハ生産品ノ原價ノ引上等ニ依ツテ物價高ヲ招キツ、アル傾向デアリマス、是ガ生活費ヲ更ニ昂騰セシメテ惡循環ヲ繰返シシテ、更ニ勞銀ノ値上、物價高、生活費ノ昂騰、斯ウ云フ風ニナツテ參ルノデアリマス、現政府ニ於ケラマシテハ此ノ狀態ヲ打開スベク相當ノ御抱負、御經綸ヲ以テ經濟安定本部ヲ設置サレタモノト存ズルノデアリマスガ、此ノ生産物價ト賃銀ガ、所謂物價ガ賃銀ノ上ニ影響ヲ及ボシ、ソレガ又生産費ノ方面ニモ關係シ、生活費ニモ關係スル、又ソレガ物價ノ上ニ響イテ來ルト云フヤウニナリマスガ、茲ニ經濟安定本部ニ於テハ革新的ナ物價政策ヲ御採リニナツテ、物價ガ適正ナ價格ニ引下ゲラレルト云フヤウナコトヲ御考ヘナリハシナイデアラウカドウカ、又是ト極メテ關係ノアリマス生活費、現在ノ一般國民ノ生活ノ方式ガ革新的ニ行ハレナケレバナラヌト存ズルノデアリマス、サウシテ行キマスル爲ニハ、一家ガ農家ト同ジヤウニ舉ツテ働クト云フコトデナケレバナラヌト思ヒマス、一人ノ人ガ働イテ其ノ收入ニ依ツテ一家ガ生活ヲ營ムニハ餘リニ物價ガ高過ギルノデアリマス、ソレデハ一家ノ生活ヲ支ヘルコトハ出來ヌ、飢饉寒破ハ困難ダト思ヒマス、ソコデ一家ガ共ニ働クヤウニ生活方式ヲ變ヘル、又其ノ消費ノ方面ニ於テモ今少シ物ヲ活カシテ使フ、消費ノ合理化、生活ノ合理化ヲ積極ニ行フ、又ドウシテモ生活ニ困難シテ飢餓ニ直面スルヤウナ家庭デ子供ヲ澤山持ツテ居ル者ハ、或ハ世間中等學校ヘ通ツテ居ル者ハ、晝ハ勤勞シテ夜學校ニ通フト云フヤウナ方法モ一應ハ探ラナケレバ、一家ノ生活ヲ安定セシムル

コトが出来ナイイカモ分リナイ、色々ノ工夫ナリ、改善ヲシテ生活ノ水準ヲ引下ゲ、而シテ収入ト「バランス」ノ探レルヤウニスルコトガ必要デハナイイカト存ズルノデアリマス、又生産ノ方面ニモ、数々革新ノ生産ノ方式ヲ行ハナケレバナラヌデハナイイカ、サウシテ行クニハ生産上ノ有ラユル無駄ヲ省キ、労働能率ヲ昂揚シ、丁度今カラ二十年「アメリカ」ノ「ブラック・ヒルズ」ガ指摘シマシヤウニ、日本ノ産業ニハ有ラユル角度カラ見て大キナ浪費、空費、冗費ガアル、之ヲ省クコトニ依ツテ年々四大工業ダケデモ三億圓以上ノ無駄ヲ省ケルコト言ツテ居リマス、之ヲ各種ノ産業ニ當嵌メテ見マスト數十億圓ノ無駄ヲ省ケレテ來ル計算ニナルノデアリマス、天然資源ノ少イ日本ニ於テ良イ物ヲ安ク作ルニハ矢張り生産方式ニ一大革新ヲ斷行シテ、サウシテ適正ナル價格ヲ物ヲ生産スルコト云フコトニナラネバナラス、從ツテ革新の物價政策ヲ行フノト相關關係ヲ持ツテ居ル革新の生活方式ヲ行ヒ、革新の生産方式ヲ行ツテ生活ノ水準ヲ引下ゲ、適當ナル賃銀ニ依ツテ勤勞ヲ持續スルコトが出来、又生産費ノ水準ヲ引下ゲテ適正ナル價格ヲ以テヤル、所謂良品廉價ヲ以テ一般社會大衆ノ便益ヲ圖ルト云フコトニナラナイト、經濟安定ノ實ヲ望ムルコトハ困難ナヤウニ存ジマスガ、之ニ對スル國務大臣ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(藤井之助君) 只今ノ中山サンノ御質問ニ對シテ御答ヘ申上ゲマスガ、將來ノ生産ノ合理化並ニ勤勞者ノ生活ノ合理化、斯様ナ問題ニ付キマシテハ御意見至ク私モ御同感ニ存ジマス、私共モサウ云フ方面ニ安定本部

ノ、經濟安定ノ、産業安定ノ、産業ノ將來ノ機構及ビ運轉並ニ勤勞者ノ福祉増進、生活上ト云フヤウナ問題ヲサウ云フ線ニ沿ツテ進メテ参リタイト存ジテ居リマス、尙同時ニ生産、賃銀、物價ニ對シテ安定本部デドンナ考ヲ以テ施策ヲシテ行カウトシテ居ルカト云フ御尋デゴザイマスガ、實ハ今御質問ノ中ニモアリマシタ賃銀ト物價トガオ互ヒニ惡循環ヲシテ居ルコト云フヤウナ點ハ御指摘ノ通りデアリマス、ソコデ何處ニ其ノ根本ノ原因ガアルカト申シマス、私共ノ考デハ結局食糧品不足ノ爲ニ閣下場ガ行ハレテ居ル、又閣下物資ヲ購入スルニ非ザレバ生活ノ保證ガ出來ナイ、茲ニ從來ノ賃銀ト生産費トノ惡循環ガ行ハレテ大キナ原因ガアツタノデアリイカト存ズルノデアリマス、労働爭議ニ現レマシタ色々ナ事象、又生活、飢饉突破資金ノ要求ト云フヤウナサウ云フ要求モ、何處カラ來ルカト言ヘバ、結局配給サルベキ食糧ノ不足ノ爲ニ閣下生活ヲ行フ、其ノ爲ニ已ムヲ得ザル矢張り必要ガアル爲ニ、通常ノ物ノ生産費、産業ノ經營ノ標準デハ老ヘ切レナイヤウナモノヲ出サザルヲ得ナイト云フヤウナ事象ニナツテ參ル、結局其ノ爲ニ増加サレマシタ賃金、俸給ガ又物價騰貴ヲ誘致スルヤウナコトニ廻ルヤウナコトデアリマスノデ、私共ノ考ヘテ居リマス諸經濟安定ノ根本ノ施策トシマシテハ、幸ニ本年米ノ豐作ヲ見マスノデ、此ノ機會ニ於キマシテ閣下生活ノナイ國民ノ食生活ヲバ先ヅ調整シマシテ、賃金ト物價トノ惡循環ノナイヤウニ致シテ参リタイ、尙從來ハ兎角此ノ物價ガ、色々ノ總テノ勞銀ヲ定メマス際モサウデアリマスルガ、色々ノ物價ガ何ト申シマスガ、

凸凹ニ勝手ニ決メラレテ居ルヤウナコトモアリマス、將來ノ賃金、物價等ニ關シマスル方策トシマシテハ、先ヅ出來ルダケ閣下ノ生活ガ出來マスル主食品ノ價格ノ安定ヲ見マシテ、ソレヲ中心トスル合理的ノ賃金ト云フモノガソコニ定ル、其ノ合理的ノ賃金ト申シマシテモ、實ハ此ノ生活ノ上ニ非常ニ變動ガ参リマシタ爲ニ、現在ノ賃金制度ハ御承知ノ通り賃金制度トシテハ甚ダ不合理ノモノデアリマシテ、寧ろ賃金、俸給ト云フヨリモ一種ノ救済資金ノヤウナ意味合ヲ呈シテ参リマスノデ、家族主義的ト申シマスガ、封建主義的ノ色彩ヲ多分ニ含マレテ居ルノデアリマシテ、此ノ食生活ノ安定ヲ期シマス同時ニ、一方ニ能率賃金ト云フヤウナコトヲ中心トシマスル一ツノ賃金ノ合理化ヲ圖ツテ参リタイ、ソコニ直ツニ生産費ノ基礎ヲ成シマスル賃金水準ヲ作ル、ソコデ合理的ノ生産ノ經營ガ出來ルト云フヤウナ方面ニ參ル、其ノ一聯ノ根本施策ヲバ安定本部デ樹立致シタイト思ヒマシテ、既ニ米ノ問題ハ自然ガ助けテ與レタト申シマスガ、之ニ依ツテ安定ヲ得ルト思ヒマスノデ、此ノ機會ニ今申シマス物價、賃金、生産費ト云フヤウナモノノ合理的の「バランス」ヲ取レルヤウニ一ツ誘導シテ参リタイ、茲ニ安定本部ノ應急の施策ノ中心ヲバ集中致シタイト、斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマス、尙將來ノ生産ノ合理化ヲドウ云フ風ニ持ツテ行カウト云フコトデアリマスガ、是ハ現在御承知ノ軍需補償打切ニ付ヒマスル日本ノ産業ノ移リ變リ、又賠償ノ爲ニ撤去サルベキ設備等ノ返還等ニ依リマシテ、日本ノ生産界ニ於キマシテモ從來ト違フ「ベシス」ノ上ニ考ヘナケ

レバナラナイ事象ガ出テ參ルト思ヒマス、是等ハ一方ニハ中小工業ノ育成ト云フコトハアリマスケレドモ、同時ニ少イ資材ヲ似テ又不十分ナ施設ヲ以テ日本ノ産業ヲ再開シテ行キマスニハ、是非共茲ニ重疊の産業ノ指導方針ヲ探ラナケレバナラヌト思フノデアリマシテ、ソレヲ策シマス際ニハ經營ノ合理化、是ハ此ノ軍需補償打切ニ付ヒマスル各産業ノ整備計畫ヲ補助シテ參リマス際ニ、自然ニソレガ行ハレテ參ルノデアリマスケレドモ、合理的の産業ノ經營ト云フ方面ニ持ツテ行カナケレバナラヌト存ジテ居リマス、其ノ際ニ大キナ問題トナリマスコトハ勿論申上ゲル迄モナク勤勞ノ問題デアリマス、斯ウ云フヤウナ、人ガ多クテ仕事ノ少イ際ニ、御説ノヤウナ一家總テニ仕事ガ與ヘラレルヤウナコトガ直グ實現出來ルカドウカト云フコトバ甚ダハ疑問デアリマス、併シナガラ一方ニハ生活ノ合理化ト云フコトモ考ヘ、又是ト裏腹ニ産業ノ中ニ於キマス労働ノ位置ト申シマスガ、勤勞意欲ヲ發揮セシムベキ其ノ形モ從來ト變ツテ考ヘナケレバナラヌト存ゼラレルノデアリマス、是カラハドウシテモ國內ノ諸原料、其ノ他ノ物資ガ足りナイノデアリマスカラ、而シテアルモノハ努力、是ガ是カラノ産業回復ノ大キナ一ツノ元ナンデアリマスカラ、此ノ勤勞意欲ヲ如何ニ合理的ニ發揮セシムルカト云フコトガ、是カラノ産業ニ課セラレタ大キナ問題ト存ジマス、是ハ無論勞資一體トナツテ産業ノ難關ヲ克服スベキデアリマスケレドモ、從來ノヤウナ唯由ラシムベシ、知ラシムベカラズト云フヤウナ意味ノ勞資ノ一體觀デハ參ラナイノデ、相當産業ノ中ニ於キマス

ル勤勞意欲ヲ、自覺シタ勤勞心ノ上ニ發揮サセルヤウナコトガ必要ト思ヒマスノデ、サウ云フ點ニ於キマシテ合理的ノ賃金制度ノ研究ト共ニ、安定本部ニ於キマシテハ、ドウ云フ形ニ於テ、ドウ云フ方面ニ於テ、ドウ云フ限度ニ於テ、又ドウ云フ責任ニ於テ勤勞意欲ト經營ト云フモノト結ビ付ケルカト云フコトニ付テハ研究ヲ進メテ居リマスルシ、或形ヲ整ヘテ行ク必要ガアルト斯様ニ存ゼラレルノデアリマス、甚ダ御答ヘ申上ゲマスコトガ抽象的ノナリマシテ、御満足ガ得ラレマシタカドウデスカ、其ノ點ハ恐縮ニ存ジマスガ、大體斯様ニ存ジテ居リマス

○中山太一君 色々詳細ニ御答ヘラ戴キマシテ有難クゴザイマス、其ノ際賃金ノ問題ノ内容ニ付キマシテモ安定本部ノ御方針トシテ御漏ラシ戴イタコトハ大變適切ダト存ズルノデアリマス、現在ノヤウナ社會政策ヲ主トシテ産業政策ガ全然没却サレテ居ルヤウナ賃金法ヲ以テ産業ノ興隆ヲ圖ルト云フコトハ、全然出來ナイノデアリマシテ、是ハ總テノ賃金、諸手當等ニアリマス、就中家族手當ノ問題ニ付テハ是ガ一層濃厚デアリマスガ、ソレガ將來能率賃金等デ、技能ナリ勤勞ナリノ特別ノ人ノ力ガ發揮サレ、バヨリ高イ賃金モ支拂ヒ得ルヤウナ方法ニナルト云フコトハ、極メテ適當ナコトダト存ジマス、賃金問題ニ付テハ御尋ホシヨウト思フコトヲ私ハソレデ打切リマシテ、次ニ失業ノ問題ニ付テハ先達テ厚生大臣ニハ御尋ホシマシタガ、是ハ安定本部トシテノ御意見ヲ承ル方ガドウモ至當デアリ、適切デアルト考ヘマスノデ御尋ホシマシテ、ソレデ政府當局ニ於ケレハ現在ノ産業經濟界ノ實情ニ即シテ、

社會保護法、生活保護法等ノ名ニ依ツテ、失業救済ニ關スル各般ノ施設等ニ付テ相當重點ヲ置イテ施策ヲ進メラレタルコト云フコトハ承知シテ居リマスガ、ソレガ消極的デアツテハナラヌデハナイカ、現在ノ文化ノ水準カラ總テノ政治ガ行ハレルナラバ、社會政策ニ於キマシテモ所謂貧乏人ヲ救フコトモ必要ダガ、貧乏ニナラヌヤウニスル、所謂病人ヲ助ケル、傳染病患者ヲ助ケルガ、ソレヨリモ傳染病ニ罹ラナイヤウニスル、火消ハ十分ニ完備スルケレドモ、出火シナイヤウニ、又ハ極クボヤノ時ニ消ストカ、防火ニ力ヲ置タト云フヤウナ如ク、失業ヲ救済スルコトハ必要デアリガ、ソレガ必要デアレバアル程、失業者ヲ出サヌヤウニスルト云フコトガ大キナ施策ニナラネバナラヌデアリマス、經濟安定本部ノ仕事トシテ失業防止ニハ餘程重點ヲ置イテ實行必要ガアルノデハナイカ、併シ一面ニハ補償ノ打切ナリ又財源稅ノ更ニ賠償工場等ノ關係デ、出スマイトシテモ失業者ハ簇出スルノデアリマス、是ハモウ雨量ガ多クテドンナニ洪水ヲ出スマイトシテモ防グコトガ出來ナイ點デアリマスカラ、是ハ全然防止スルト云フコトハ出來ナイダラウガ、大害ヲ招カナイ、出來ルダケ防グ限リハ防グト云フ施策ガ政府ノ最高政策ニ於テ行ハレナケレバナラヌノデヤナイカト、斯ウ思ヒマスガ、之ヲモウ一ツ具體的ニ申シマスレバ、失業救済ニ對シテハモウ本員ガ申上ゲル迄モナク、政府デハ著々トソレニ付テノ豫算迄取ラレテ實施セムトシテ居リマスガ、失業防止ノ方ニ於テハ基準法ニモ色々定メラレテ、三十日ノ豫告ガ必要ダトカ、手當ガサウ云フ場合ニハ必要

ダトカ、イヤ、ソレデハ少イトカト云フコトガ論議サレテ居リマスガ、私ハ是ガ將來行ハレルヤウニナリマシテモ、是デハ實際ノ失業者ノ苦痛ヲ救フコトハ出來ナイシ、又失業スル人ニ豫告シテカラ後ノ三十日間ト云フモノハ事業ノ内部ガ混亂シテ却テ豫告期間ガ多イケレバ多イ程非常ニ警告ガ件フコトダト思ヒマスノデ、之ニ對シテハ若干ノ手當ト云フコトハ附ケテアツテモ、「ソ」聯ガ二週間ノ豫告デアリ、日本ノ民法カラハ矢張り二週間ダトカ、必ズシモソレヲ長クシナケレバナラヌト云フコトヨリモ、豫告ト共ニ其ノ手當ハ免除サレル管デアリマスケレドモ、寧ロ豫告モスルガ若干ノ手當ノ義務モ伴フト云フヤウナ風ニ考慮サレムコトモ必要デアルトモ思フノデアリマス、豫告期間ハ短クシテ手當ガ若干附クト云フコトガ考ヘラレタ方ガ、ドウモ弊害ガ……辭メル者ガ幾ツテ居ツテ却テ殘ル者ガ困ル、ソレカラ事業ハ非常ニ其處ニ不規律ナ不秩序ナコトニナル虞ガアリマスカラ、是ハ考慮ヲ煩ハシタイト思ヒマスガ、失業防止ヲスル爲メ失業防止本部ノ如キモノヲ設ケラレデ、直接勸導者ニ豫告シナイケレドモ、工場其ノ他ノ關係者ハ失業者ヲ多量ニ、所謂正當ナ解雇デナク事業ノ關係上大量解雇シナケレバナラヌヤウナ場合ニハ、豫メ其ノ本部ニハ豫告シテ置キ、サウシテ本部ニ於テハ各方面カラ申出ガアツタ中ラドン、配置ヲ考ヘテ貰ツテ、ソレヲ要求スル方面ニ直グ配置スル、ソレハ出來ルダケシテ貰フガ、併シドウシテモナイト云フ時ニハ或ハ臨時ノ仕事、東京都ノ道路政策トカ或ハ名古屋トカ大阪トカ各地ノ附近々々ニ必要ナ仕事ガアレバ、ソコデ

一箇月カ二箇月ノホンノ臨時の仕事ガ出來ルヤウニ振向ケルヤウ御考慮ツタラドウカ、サウシテ其ノ失業者ガ翌日カラ失業ノ爲メ途方ニ暮レルト云フノヲ假令一月デモ二月デモサウ云フモノガアルナラバ、其ノ間ニ友人知己其ノ他ノ方面カラ就職スル機會ガ得ラレルト云フヤウナ、裕リノアルヤウナコトハ非常ニ深切デモアリ、又失業者ノ身ニ取ツテモ苦痛ガ餘程減ズルコトニナルト云フヤウニ思ヒマスガ、之ニ對シテ一ツ安定本部トシテ、是モ矢張り經濟安定ノ上ニ大キナ役割ヲ持ツコトデアルト考ヘマスガ、御所見ハ如何デアリマセウカ

○國務大臣(桂之助君) 只今ノ失業防止及ビ出マシタ失業者ニ對スル對策ノ問題ニ付デアリマスガ、斯ウ云フヤウナ具體的ノ方策ヲドウスルカト云フコトハ、寧ロ安定本部ノ仕事ト申シマスヨリモ、直接厚生省デ色々御心配願ツテ居ル點デアリマスガ、從ツテ應急ニドウ云フ風ナ措置ヲスルカト云フヤウナ具體的ノ問題ニ付キマシテハ、定メシ條ノ御間ヒニ對シマシテ厚生大臣或ハ厚生御當局カラ御話ガアツタト思ヒマスガ、私共ノ考ヘ端のニ申上ゲマスレバ、ドウモ根本ノ問題ニ於キマシテ、工業労働者ニ相當……是ハ豫想シテ程ノ數ニ上ルカモ存ゼラレマセヌケレドモ、或數ノ離職者ガ是カラ段々出來テ來ルト云フコトハドウモ是ハ已ムヲ得ナイ、ト申シマスノハ是モ申上ゲル迄モナク、日本ノ工業ノ「スケール」ガ、規模ガ小サイ點カラ見マス時ニ、又從來ノヤウナ軍需品ノ製作カラ平和産業ニ移ルト云フヤウナ其ノ切換ヘノ點カラ考ヘマシテモ、又賠償ノ爲

ニ工場撤去ト云フヤウナ問題カラ參リマシテモ、兎ニ角從來ノヤウナ工業從業員ノ人口ヲ維持シテ參ルト云フコトハ困難カト存ゼラレマス、安定本部ト致シマシテ、一時的ノ問題デアリマセヌ、將來ノ日本ノ全體ノ人口、是ガ各般工商等ニドウ云フ風ニ分布セラレマシテ、ソコニ經濟ノ安定、國民ノ生活ノ安定ガ得ラレルカト云フコトハ、是ハ相當困難ノ問題デアリマスルケレドモ、是非トモ安定本部ノ最後ノ計畫ノ一ツトシテ編ミ出サナケレバナラヌモノトシテ、モウ研究ニ著手致シテ居ル譯デアリマスガ、其ノ際ニ於キマシテモ、今カラ豫想セラレマスコトハ、現在工業ニ關係シテ居ル者ハ、無論此ノ戰爭ヤ何カデ出タ者モゴザイマスケレドモ、サウ云フ者ガ歸還スル者ガアリマシテモ、結局或ハ昭和五、六年ト申シマスカ、昭和十一、二年ト申シマスカ、滿洲事變ノ當時、或ハ日華事變ノ始マル當時ト云フヤウナ程度ニ工業ノ「スケール」ガ維持シテ行ケルカドウカト云フコトハ、餘程確信ヲ持テナイ點デアリマシテ、從ツテ茲ニ工業從業員ガ矢張り他ノ職業ニ轉ズル面モ根本的ニハ考ヘナケレバナラヌ、斯ウ思ヒマス、又差當リノ問題ニシマシテモ、重層補償打切ニ付工場ノ縮小モゴザイマス、今ノ賠償工場等ノ撤去ニ關シマシテモ、ソコニ從來ノ職ニ從事出來ナイ者ガ出ルト云フノハ、ソレハ已ムヲ得マセヌ、併シナガラ斯ウ云フヤウナ應急的ニ職ヲ離ラザルヲ望ナイヤウナ人デモ、一時ニ是ガ離職ヲスルヤウナコトガアリ、ソレニ適當ナ授職ガ出來ナイヤウナコトガアリマスルト、是ハ相當大問題デアリマスノデ、ドウ云フ風ニ工場從業員ヲ整理シテ參ル

カト云フヤウナコトニ付キマシテモ、出來ルダケ打撃ノ少ナイヤウナ方法ニ指導シテ參ルト云フコトガ必要ト存ジマス、從ツテ是カラ工場ノ整備計畫ガ補償打切ニ付マシテ出マス際ニモ、是ハ私共ハ能ク主務官廳デアリマスル厚生省等ト協力致シマシテ、合理的ニ産業ノ經營ヲ改造シナケレバナラヌケレドモ、其ノ爲メ一時ニ必要ニ勞働不安ヲ起サユウナ形ヲ採ツテハイケナイノダ、斯様ヲ考ヘテ居ルノデアリマシテ、ドウ云フ風ニ離職者トソレ等ノ就業ト云フモノヲ結び付ケルカト云フコトニ付キマシテハ、矢張り茲ニ勞資ノ間ニ一ツノ、ドウ云フ形ニナルカマダ決定ハ致シマセヌガ、何カノ形デ一ツノ懇談ト云フカ、御互ヒ協議ト申シマスルカ、サウ云フヤウナ形ヲ採リマシテ、一時的離職者ニ對スル生活ヲ保障スル制度トシテハ、過般豫算トシテ御協賛ヲ得マシタ經濟安定ニ關スル公共事業ニ對スル經費モアリ、其ノ他ノ經費モアリマス、サウ云フヤウナ事業費ニ依リマシテ、應急的ノ仕事ヲ與ヘル、ソレカラ尙恆久的ニドウ云フ風ニ斯ウ云フ人達ニ仕事ヲ與ヘルカト云フコトハ、工業部門デ吸收出來ナイ點モアラウカト存ジマス、ソレ等ニ付キマシテハ、失業者、離職者ノ數ガ段々出マスレバ勸勞署等ト緊密ナル連絡ヲ執リマシテ、サウ云フ人達ニ何カ恆久的ノ失業ノナイヤウニ之ヲ一ツ計ラツテ參リタイ、尙只今御話ノアリマシタ豫告手當ト申シマスカ、解雇手當ト申シマスカ、サウ云フヤウナ點ニ付キマシテモ、是等ノ企業整備ノ資金ガサウ云フ面ニ非常ニ吸收セラレマシテ、是等ノ企業再建ノ資金ガ、極ク言葉ハ不適當デアリマスルケレドモ、生産ニ對

スル資金デナクテ消費資金エナツテシマ
フト云フコトハ、是ハ注意シナクチャ
ナラヌコトデ、自ラ限度ハ出来マスル
ケレドモ、今回ノ企業再建ニ關スル
計畫ニ於キマシテハ、政府モ相當ノ資
金ノ融通迄確保致シマシテ、或一定ノ
期間ニ對スル退職手當、解雇手當ハ之
ヲ保障シテ参リタイ、資金ノナイ者ニ
付キマシテハ或程度ノ融通モシテ参リ
タイト云フヤウナコトモ考ヘテ居ルマ
ス、併シ何ヲ申シマシテモ、現ニ角此
ノ狭イ國土ニ八千萬ノ人口ガ集ツテ参
リマシテ、工業ノ規模ハ從前ノ二分ノ
一或ハ三分ノ一ニ縮小スル、茲ニ於キ
マシテ、全然茲ニ從前ト同ジヤウナ雇
傭條件ガ續クト云フコトハ豫想セラレ
ナイノデアリマシテ、困難ナ點デハア
リマスルガ、矢張り是ハ國民各層ノ方
方ト政府ト協力シマシテ、出来ルダケ
犧牲ヲ少ナクシテ産業ノ轉換ヲ圖ルヨ
リ途ハナイト思ヒマス、其ノ間ニ計畫
通りニ參テヌ點モ多クアラウト存ジマ
ス、併シナガラ安定本部ノ計畫トシマ
シテハ、各省ト連絡シマシテ、只今申
上デマシタヤウナ順序ト申シマスガ、
準備ニ於キマシテ最善ヲ盡シテ参リタ
イ、斯様ニ考ヘテ居リマス

テ居ルノガ、今迄ノ補償打切後ニ於テ
行ハレテ居ル諸種ノ問題デアリマス、
政府ノ計畫サレテ居ルノガ、傳ヘラレ
テ居ルヤウニ、財產稅等ノモノガ若シ
其ノ儘實施サレルナラバ、一般ノ國民
ノ生活、資金、財產ト云フモノハ安定シ
テ行キマセウガ、産業ニ必要ナル資
金、財產ト云フモノハ、茲ニ非常ナ大
打撃ヲ受ケテ來ルノデアリマス、ソレデ
相當ノ實力ガアツテ會社組織ノ下ニ之
ヲ行ツテ居ルモノハ、其ノ個人ノ財產
ハ減ツテモ、唯株式ノ移動ノミニ依ツ
テ、事業ノ本體ニハ影響アリマセウガ、
中小工業ノ如キハ個人經營ガ多イノデ
アリマスカラ、是ハ自分ノ施設ヲ手離
サネバナラヌ、整理シナケレバナラ
ヌ、是ハ破産ニ等シイ狀態ニ直面シテ
行クノデアリマスカラ、其ノ整備力、
整理力、破産力、斯ウ云フコトニナ
テ行クノデ、是カラモ相當失業者ヲ出
スノデアリマス、サウ云フ場合ニハ經
營者自分自身モ失業者ニルカモ分リマ
セヌ、是ガ健全ニ發達シテ行ケバ、是
等ノモノガ失業者ヲ相當ニ收容シ得ル
力ノアル日本ノ中堅層デアリマスガ、
ソレガ政府ノ今同計畫サレテ居ル財產
稅ノ影響ニ依ツテ、其ノ力ガナクナル
ト云フコトニナツタナラ、由キシキ問
題デアル、一方ニハ失業救済ヲシ、又
一方ニハ失業者ガ澤山出ルノ何トカ
助ケナケレバナラヌトシテ御苦心ニナ
リナガラ、更ニ次々ニ起ル政府ノ政策
ト云フモノハ、貧乏人ヲ感シニ作ツテ置
イテ、サウシテ其ノ貧乏ヲ救フノド
云フノト同ジコトヲ次々ニヤツテ來ラ
レルト、如何ニ聰明ナル、如何ニ識見
ノアル當局ガ出ラレテモ、收拾スルコ
トノ出来ナイヤウナ結果ニナリハシナ
イカト存ズルノデアリマス、此ノ日本

ノ中小工業又ハ中小商業等ノ實力ガ今
少シ維持サレルヤウニ、政府ハ全般ノ
政策ノ上ニ考慮サレル御考ハナイノデ
アリマセウカ、次ニハ政府ハ物價問題
ニ非常ナ苦心ヲサレツ、アリナガラ、
日本銀行券ハドン／＼膨脹シテ行クノ
デアリマス、是ハ常識ヲ以テ考ヘテモ
分ツタコトデアツテ、一人ノ人ガ百圓
宛毎月引出スコトガ許サレルト云フコ
トニナツテ、七千五百萬人ノ中ノ半數
ガサウ云フヤウナ狀態ニ於テ行ハレタ
ナラバ、一箇月ニドレダケノ金ガ引出
サレテ行クカ、其處ニ産業資金ガ若干
引出サレテ行クトスレバ、五六千億圓
ハ毎月當然出サナケレバナラヌ、ソレ
ガ十箇月經テ六百億ニナル、斯ウ云
フノヲ其ノ儘放任シテ置カレテ、之ニ
對シテ適切ノ施策ガ行ハレテ居ラヌ、
通貨ノ膨脹ヲ來シテ行ク、ソレデ一方
ソレダケ膨脹シナガラ、産業界ニハ資
金ガ、新圓資金ガナイ爲ニ、非常ニ窮
迫シテ經營狀態ニ追込マシテ居ル、又
昨日モ大阪ノ或工業會デ私ハ報告ヲ聞
キマシタガ、某地方ノ炭礦ニ於テハ新
財開ト云フモノガドン／＼起ツテ居
ル、ソレデ毎月二百萬圓乃至二千萬圓
位ノ收入ガアル、サウシテ政府ハ炭礦
ニ補助ヲドン／＼シテ居ラレレケレド
モ、或意味ニ於テノ生産費ハ半額前後
デ済シテ居ル、ソレデ百萬圓乃至千萬
圓位ノ所得ガアツテ非常ナ勢デアル、
ソレデ前カラ在ツタ財開ハドウ云フ工
合カト云フト、生活費ニ迄因ツテ著物
ナドヲ賣ツテヤツテ居ル、是ハ名前等
ハ申スノヲ憚リマスケレドモ……斯ウ
云フ狀態デアル、是ハ經濟安定本部
ノ色々ナ施策ノ上ニ、補助金ヤナン
カノコトモ考ヘナケレバナラヌ、ソレ
カラ今ノ通貨ノ問題モ御考ヲ願ハナケ

レバナラヌ、ソレカラ財產稅ノコトモ
アル、ソレデ今迄アツタ財開又ハ資本
ノ有力者ハ是デ益々ヒドイ目ニ遭ヒナ
ガラ、新興財閥ニサウ云フ矛盾シタコ
トガアル、是ハドウ云フコトデア
カ、是デハ物價問題ナリ貸金問題ナリ
正ニ解決スルコトハ出来ナイノデヤナ
イカ、ソレナラバ或者ニ對スル極端
補償ヲ減額シテ、中小工業若シハ商
業、日本ノ再建復興ニ最モ役立ツ所ノ
人達ノ爲ニハ、其ノ稅額ヲ半減スル
云フ位ニシテ、補償金ヲ相當減ジテ行
ツテモヤレルモノデヤナイカ、此ノ點
ニ付テ今少シ眞相ヲ究メテ善處シテ貰
ハナケレバ、日本ノ一番必要ナモノダ
カラト云フノデ、政府ノ弱味ニ附ケ込
ンデ、一部ニハ非常ナ不當ナ利益ヲ收
メツ、アル者モアルヤウニ思フノデア
リマス、此ノ有ラユル角度カラ起ツテ
居ル矛盾ニ對シテ特ニ善處サレルコト
ガ、安定本部トシテノ施策ノ上ニ良イ
成績ガ舉リハシナイカト思ヒマスガ、
モウ一度之ニ付テノ御答ヲ承レバ仕
合セニ存ジマス

○國務大臣(勝桂之助君) 第一番ニハ
中小商業ノ育成ノ問題、財產稅其ノ
他ノ新シイ稅法ガ中小商業ヲ却ツテ
壞シテ行クノデハナイカ、斯ウ云フヤ
ウナ御懸念、此ノ點ハ政府ノ稅制ノ制
定其ノ他ニ付キマシテモ絶ズ深甚ノ
考慮ガ拂ハレテ居ル點デアリマスル
ガ、實ハ是モ率直ニ申シマスレバ、財
產稅或ハ補償打切等ニ伴ヒマス措置ニ
付キマシテハ、矢張り是ハ經濟再建ノ
爲ニ、或程度ノ犧牲ガ一方ニ出マシテ
モ、整理ヲスルダケノコトハ先ツ整理
ヲ致シマシテ、其ノ後ニ能ク政府ノ聲
明ヤナンカニアリマスル、スツキリト
現レタ一ツノ基礎ノ下ニ經濟ノ再建ヲ

圖ルト云フコトハ、是ハ内外ノ情勢カ
ラ見テ已ムヲ得ザル所デアリマシテ、
私共色々ナ施策ノ計畫ニ當リマス者ト
シマシテハ、其ノ間ニ十分ノ調整ガ執
レ得ナイ點ノアルト云フコトモ已ムヲ
得ナイト考ヘテ居リマス、併シナガラ
已ムヲ得ナイカラ自然ニ任スト云フノ
デハアリマセヌノデ、矢張り一應總テ
ノ整理ヲヤリマシタ其ノ後ニ、一ツ新
シイ事業ノ下ニ健全ナ中小商業ノ育
成ヲ圖ツテ参リタイ、斯様ニ考ヘテ居
ル次第デアリマス、安定本部ノ中ニ於
キマシテモ、特ニ中小商業ノ問題ハ
重要ニ存ジテ居リマスノデ、今ドウト
云フコトヲマダ申上ゲル時期ニ至ツテ
居リマセヌ、今構想ヲ練リツ、アルノ
デアリマスルガ、近ク之ガ爲ニ各省ト
連絡ノ上ニ、或適當ナ一ツ仕事ヲシテ
参リタイ、是ハ一方中小商業ノ再建
ノ爲ニ設備、資材ノ供與ト云フヤウナ
點、又技術ノ指導ト云フヤウナ點、又
サウ云フヤウナ人達ノ依ル團體ノ育成
ト云フヤウナ點、又是等ヲ通ジテノ金
融ト云フヤウナ點、是等ノ點ニ付キマ
シテ、出来ルダケノ努力ヲ拂フ爲ニ、
一ツノ形ヲ……形ト申シマスガ、組織
ヲ考ヘテ居リマス、マダ今日ドウ云フ
風ニト云フコトヲ申上ゲル時期ニ達シ
テ居リマセヌ、軍需テノ機會ニ申上ゲ
ラレ、バ仕合せセドト存ジテ居リマス、
又次ニ此ノ新圓ノ偏在、是カラ行ハレ
ムトシテ豫想サレテ居リマスル稅制、
又現在ノ此ノ通貨ノ封鎖ノ制度、斯ウ
云フヤウナモノノ爲ニ、今仰セノヤウ
ニ、非常ニ不自然ナ、或意味カラ言ヘ
バ本當ノ健全ナ日本ノ社會ヲ形成シ、
茲ニ立派ナ道義ノ社會ヲ作りマス上
ニ、甚ダ好マシカラザル狀況ノ起キテ
居ルコトハ眞實ト存ジマス、併シ政府

ト致シマシテハ徒ラニ此ノ目先ノ事象ニ逐ハレマシテ何ト申シマスカ、小刀細工ヲシテハイケナイノダ、要スルニ今日ノ只今仰セヨウナ状態ハ、結局産業ノ將來ノ見透シカラ、經濟ノ成リ行キ等、是等ニ對シマスル國民ノ安全感、信用ガアリマセヌ爲ニ、圓ガ一方ニ偏シテ、而モ是ガ退蔵セラレテ居ルト云フヤウナ現象、又食物ノ……主食品ノ不足カラ根本ヲ發シマシテ出マスル色々ノ闇ノ取引斯ウ云フヤウナモノニ介シテノ或好マシカラザル階級ガ暴利ヲ得テ居ルト云フヤウナ點、又斯ウ云フヤウナ移リ變リノ際ニ、巧ミニ立廻リマシテ不當ナ富ヲ得テ居リマスヤウナ輩、斯ウ云フヤウナ者ガ一時跳梁シテ居ルト云フコトハ残念デアリマスルケレドモ、是ハドウモ已ムヲ得ナイト存ジマス、結局一日モ早く此ノ不自然ナ資金ノ封鎖デアリマスルトカ云フヤウナモノガ解除セラレマシテ、事業資金モ自由ニ使ヘルヤウナナリ、又一方ニハ生活ノ安定ト云フコトニ伴ヒマシテ、此ノ不正ノ輩ノ跳梁スル機會ヲ經濟上出來ルダケ少クシテ行クト云フヤウナ根本ニ努力スルコトガ大切ダト存ゼラレマス、私共ハ各省ト違ヒシテ、現實ニ應急ノ問題ヲ何等施策シテ居ル譯デアリマセヌケレドモ、此ノ産業ノ安定、經濟ノ安定ト云フコトニ依リマシテ、好マシカラザル事象ガ自然ニ發生シナイヤウニ、出來ルダケ早く經濟ノ再建ヲバ其ノ緒ニ著カセタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、是モ御質問ニ對シマシテ御満足ノ行ク御答トモ存ゼラレマセヌケレドモ、私共ハ斯様ナ氣構ヘデ、安定本部ノ根本問題ヲバ研究致シテ居リマスコトヲ申上ゲル次第デアリマス

○中山太一君 終戦後ノ整備、所謂各方面ノ工業ヲ放置シテ置ケバ破産スルヨリ致シ方ガナイノデアリマスカラ、之ニ對シテ擬制資本ヲ整理シテ行クト云フコトガ行ハレルノハ、一面當然デアリ、已ムヲ得ナイコトデアル、サウスレバ事業ト經濟トノ均衡上所謂事業ノ足ガ一丈アツテ、經濟ノ足ハ五尺カ三尺ヨリナイヤウニナツタラ、不均衡ニナルカラシテ、是デハ到底進ンデ行クコトハ出來ナイ、其ノ事業ノ擬制的事業態勢、ソレガ資本ノ上ニ於テモ、勞力ノ上ニ於テモ、之ガ均衡ヲ保ツベク調整サレル爲ニハ、所謂擬制勞力デアルトカ、擬制施設ト云フモノガ整理サレルコトハ已ムヲ得ナイコトデアリマスカラ、是ハ安定本部ニ於テモ嚴重ノ聲明サレテ居ルヤウニ適當ナ方法デアリニ願スルモノヲ整備シテ行クト、ソレカラ普通ノ經營ノ合理化、産業ノ合理化ト建前ヲ擧ヘテ貰ハナケレバナラヌ、是ハ向上發展セシムル上ニ、平時ニ於テモ經營ノ合理化、生産ノ合理化、總テ是ハ有ラユル方面ノ無駄ナリ不合理ヲ是シテ行ツテ、ヨリ少イモノデヨリ多クノ成績ヲ擧グルコトデアリマスカラ、是ハ相當積極性ヲ持ツテ居ルモノデアリマス、今ノ差迫ツタ日本ノ工業ハ、捨テテ置ケバ破産スルノダ、一方ノ合理化ノ方ハ進ンデ行ケバ繁榮シ、彈力性ヲ持チ、勞資共、又一般消費者共ニ益セラレルヤウナ結果ヲ齎ラスト云フコトニナリマスカラ、此ノ點ヲ今後土臺ニ、第一次ハ所謂破産ヲ救フベク整備ヲヤル、第二次ハ日本ノ産業ヲ何處迄モ健全ナル發達ヲスベク合理化ヲスルト云フ風デナイト、合理化ノ爲ニ誠意ガアルト云フコトニ

ナルト、サウデナイ眞ニ經營ヲ合理化シテ行クベキモノガ皆誠意ノ場合ニナルト云フ風デ、合理化反對運動ガ大分起ツテ來ツ、アルヤウデアリマスカラ、此ノ點ハ安定本部トモテ相當ニ此ノ第一段階、第二段階ト云フコトヲ御考慮ヲ要ハナイカト思ヒマスケレドモ、之ニ對シテハ大臣ハドウ御考ヘナリマスカ、又經營協會ガ實施サレルコトヲ大體政府モ御同意ノヤウデアリマスガ、此ノ經營協會ト云フコトニナルト、其ノ内容ガ非常ニ株主ト經營者、經營者ト勤勞者ノ間ノ各々ニ關係ノアルモノガ、勤勞者ト經營者ノ所デ之ヲ獨占シタヤウナ形デ、サウシテ色々今迄決ツテ居ルモノガ越スベカラザル垣越シシテ、是デ決メタモノデ株主ノ權限迄拘束スルト云フ虞モアリマスルカラ、是ハ今後ハ工場協議會、職場協議會、生産協議會、業務協議會等、適當ナ意味ニ、其ノ名ハ體ヲ現ハスト云フ言葉モアリマスカラ、是ハ企業ノ所有、企業ノ經營、企業ニ對スル勤勞、各々三ツガ連繫ガアルナラバ、經營協議會ノ意味ガ、是ハ爭議ノ時ニ咄嗟ノ間ニ、生産管理ヲヤルカ、經營協議會ヲヤルカト云フ時ニ、思慮ノナイ經營者ガ其ノ場合ニ受諾シタ名前ダト私ハ思ヒマス、是ハ安定本部ニ於キマシテハ、適當ナ名前ヲ御考案セク必要ガアリハセヌカト存ジマスノデ、以上ニ對シマシテ、隨國務大臣ノ御所見ヲ承レマスレバ大變幸セナ次第デアリマス

○國務大臣(隨之助君) 御質問ノ第一點ノ中ニ含マレテ居リマスコトハ、徒ラニ整備ト云フヤウナコトニ急デアリマスル爲ニ、整備ヲシ、ソレカラ更ニ將來ノ再建ト云フヤウナコトニ餘リニ急ニシテ、其ノ爲ニ混亂ヲ起スコトノナイヤウニト云フ御注意、誠ニ御尤モニ存ジマス、是カラノ企業ノ再建ハ具體的ニ色々ノ工業ノ種類ニ依ツテ變ツテ參リマセウケレドモ、例ヘバ事業ヲドウ云フ風ニ整備シテ參ルコト云フコトノ計畫ノ中ニハ、現在ノモノガ有效ニ將來ニ殘リマスルモノ、尙近キ將來ニ於テ相當ニガ仲ビマスモノ、サウ云フヤウナモノニ付キマシテハ、合理的ニ將來事業ガ段々擴張シテ行キマスヤウナモノニ付テモ十分ノ考慮ヲ拂ヒ、茲ニ一旦其ノ事業ノ整備ニ藉口シマシテ一ツノ工場ノ従業員ノ整理ヲシテ、ソレカラ又更ニ人ヲ雇ヒ入レルト云フヤウナ、サウ云フヤウナ意味ノコトハシテハ相成ラスコト思ヒマス、マア實際ノ整備計畫ノ指導ニ付キマシテハ、各主務官廳ガ當ルノデアリマスケレドモ、其ノ點ニ付テハ御説ノヤウナ慎重ナ態度ト申シマスカ、考慮ヲ拂ヒマシテ、無用ニ人心ノ不安ヲ起シヤウナコトノ無キヲ期スル、又已ムヲ得ズシテ工場ニ於テ整理サレルベキ者ガ出來マス際ニモ、勤勞者等ニ連絡シマシテ、急激ナル一ツノ生活ノ環境ノ變リマスル爲ノ不安ナカラシムルト云フコトノ用意ハ、是非共必要ト考ヘル次第デアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ十分ノ考慮ヲ拂ツテ參リタイト存ジマス、ソレカラ經營協議會ノ問題デアリマスガ、實ハ是ハ實際ノ主管廳ニ於キマシテソレノ研究サレテ居ルコトデアリマスルケレドモ、最近ノ經營協議會ノ設置ニ關シマスル經緯並ニ其ノ運営ニ付キマシテハ、私共安定本部ガ將來ノ産業ノ永遠ノ平和ト云フヤウナ點カラ考ヘテ見マシテモ、好マシカラザル事情ノ下ニ發生シ、又好マシカラザル事情ノ下ニ運營サレテ居ルモノガ

多イト思ヒマス、其ノ産業ニ直接ノ關係ノナク、或ハ全ク一ツノナント申シマスカ、思想的ト言ヒマスカ、政治的ト云フヤウナ、或一ツノ系統ト申シマスカ、サウ云フヤウナモノノ影響ヲ受ケマシテ、事實其ノ産業ノ合理的ノ經營ト云フヤウナコトヲ超越シマシタヤウナ事象モ往々アリマスルコトハ、是ハ將來日本ガ勞働運動ノ健全ヲ發達ヲ圖リ、又合理的ナ企業ノ民主化ヲ圖ツテ行クト云フコトニ付テ、甚ダ遺憾トスル點ト存ジマス、殊ニ一ツノ事業ニ於キマシテ、假ニ經營協議會ト云フヤウナ組織ガ出來マシテモ、仰セノヤウニ、茲ニ自カラ經營者ト勤勞者ト云フヤウナモノハ、一ツノ事業ノ經營ノ問題ニ關シマシテハ御互ニ職務上ノ明白ニ區別サレテ、御互ニ尊重シ合フベキ一線ノアルコトハ誤リノナイコト存ジマス、世界ノ何レノ國ノ産業ニ於キマシテモ、是ハ當然ノコト考ヘテ居ルノデアリマシテ、率直ニ申シマスルト、日本ノ一ツノ思想ノ動搖ト申シマスルカ、或場合ニハ民主化ト云フコトニ關シマスル誤シタル一方ノ解釋ノ下ニ、往々ニシテ行過ギノ事象ノアルト云フコトハ私共モ率直ニ認メナケレバナラヌ點デアリマシテ、此ノ點ハ安定本部ガ是カラ仕事ヲシテ行キマス上ニ、本當ニ勞動運動ヲ指導シテ行カレルヤウナ方々ノ間ニモ十分ノ御互ヒノ研究ヲ續ケ、又協力ト接觸ヲ保チマシテ漸次明朗化シテ參ラナケレバ、到底我が國ノ企業ノ再建ト云フコトガ合理的ニ行ハレナイト斯ク信ジテ居リマス、御答ヘ申上ゲマス

○中山太一君 幾分ハ關聯事項ハアリマスケレドモ、大體ニ於テ隨國務大臣ニ御尋シタイコトハ以上ヲ以テ終リタ

イト思ヒマス、司法大臣ニ午前中ニ御尋ネシマシタコトニ付キマシテ御所見ヲ此ノ機會ニ承ルコトガ出來マスレバ結構デアリマス

○國務大臣(木村篤太郎君) 憲法委員會ノ方(右カナケレバ)ナラヌデスカラ、アナタノ御質疑ガ伺ヒタイト思ヒマス

○中山太一君 午前中申上ゲマシタガ、モウ一度申シテ宜シウゴザイマス

○國務大臣(木村篤太郎君) 簡單ニ一ツ……

○中山太一君 爭議ニ關聯シマシテ暴行、脅迫、威嚇又ハ尾行、追蹤ソレカラ交通ヲ遮斷スル等、其ノ他關係者ノ歸宅ヲ阻止シタリ、又ハ爭議ニ關係シテ居ル者、又ハ關係シテ居ラナイ者等ト從業員ノ家族ガ面會ヲ要求シテモ、ソレヲ拒絕シテ全然其ノ自由ヲ與ヘナイヤウナコト、又色々ノ意味ニ於テ監視スル、若シハ侮辱スル、惡戯ヲヤル、又ハ住宅ナリ事務所等ニ投石ヲスル、硝子ヲ破ル、藥物或ハ汚物其ノ他ノ物ヲ投入撒布スルト云フヤウナ行爲等ハ、是ハ個人デヤツテハ當然罰セラレモノデアリガ、爭議手段トシテ行ハレルモノガ、本部ノ指令デハナイカ分ラナイガ、其ノ事實アルコトハ御承知ノ通りデアリマス、サウ云フ際ニ是ハ司法當局トシテハドウ御取扱ニナルノデアリマセウカ、ソレカラ次ニハ會社ナリ事業關係ノコトニ付テ虚偽ノ宣傳、或ハ其ノ他信用ヲ毀損スルヤウナコト等ヲシテ、其ノ事業ナリ營業ナリ、又對銀行關係等ニ取返シノ付カヌヤウナ問題ガ起ル、斯ウ云フ風ナコトハ、矢張り爭議ノ手段デアアル時ニハ、其ノ他事業關係ノ者、事業主關係ハ泣

寝入リシナケレバナラヌモノデアアルカ、相當ナル手段ヲ講ズレバ保護サレルモノカドウカ、又先達テ新聞ニモアリマシタガ、鐵道爭議ニ伴フ新聞ノ發送ヲ勝手ニ鐵道關係ノ人ガ之ヲ業務上ヤラナケレバナラヌモノヲヤラナカッタ、是モ營業上ノ妨害ナリ信用ナリ色色ノ點ニ關係スルガ、是等ノ點ニ付テ司法大臣ハ如何御考ヘニナリマスカ、伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(木村篤太郎君) 御答ヘ致シマス、中山委員モ既ニ御承知ノコトト思ヒマスルガ、労働組合法第一條ニハ「本法ハ團結權ノ保障及團體交渉權ノ保護助成ニ依リ労働者ノ地位ノ向上ヲ圖リ經濟ノ興隆ニ寄與スルコトヲ目的トス」、斯ウ云フ大眼目ヲ掲ゲテ労働組合ノ行方方向ヲ示シテ居ルノデアリマス、唯第二項ニ於テ「刑法第三十五條ノ規定ハ労働組合ノ團體交渉其ノ他ノ行爲ヲシテ前項ニ掲グル目的ヲ達成スル爲メタル正當ナルモノニ付適用アルモノトス」、斯ウ云フコトガアリマス、要スルニ此ノ第一條第一項ニ掲ゲラレタ労働者ノ地位ノ向上、經濟ノ興隆ニ寄與スルコト、此ノ目的ヲ達成スル爲メタル正當ナルモノハ、是ハ其ノ行爲ガ多少不當ノ行爲ニ該當シテモ刑法デハ罰セナイト云フコトニナツテ居リマス、要ハ今舉ゲラレマシタ數々ノ行爲ハ、所謂正當ナル爭議行爲ト言ヘルカドウカト云フ問題デアリマス、御示シノ數々ノ行爲ハ是ハ正當ナル爭議行爲ニ入ラナイト私ハ考ヘマス、而モ今ノ數々ノ行爲ハ、何レモ詳細ニ互リマスルト、刑法ニ或ハ該當シハシナイカト考ヘラレマス、其ノ方カラモ左様ナリ行爲ノアツタ場合ニハ、其ノ行爲ヲ具體的ニ檢討シタニ取締

リ得ルモノト考ヘマス、ソレカラ第二ニ鐵道從業員ノ労働爭議ニ關シテ、讀賣新聞ノ發送ヲ止メタ、或ハ返送シタト云フヤウナ行爲ニ付キマシタハ、是ハ業務上不當ノ行爲デアリマス、從ツテ運輸當局ニ於テハ、是ハ十分行政上ノ處分ガ出來得ルモノト私ハ信ジマス、是ハ果シテ刑事上ノ問題ニナルカドウカト云フコトニ付テハ非常ニ「デリケート」ナ問題デアリマシテ、是ハ十分ニ内容ヲ検討シタ上デナケレバ、今直チニ御答ヘスルコトハ出來マセマシタガ、併シ少クモ是ハ行政上ノ違法處分デアルト云フコトダケハ確信シテ申上ゲルコトガ出來マス

○中山太一君 只今極メテ明快ニ御所信ヲ御開カセ願ヒマシテ能ク了解致シマシタ、サウ致シマス、數々ノ行爲ガ、單獨デ其ノ行爲ガ犯罪ヲ構成スル場合ニハ、暴行、脅迫等今申シタヤウナコトノ犯罪行爲ガ假令爭議行爲デアツテモ是ハ不問ニ附セラレルモノデアナイ、當然懲罰ヲ免レナイモノダト承知シテ宜イモノヤウニ存ジマスガ、サウデゴザイマセウカ

○國務大臣(木村篤太郎君) 重ねテ申上ゲマス、其ノ通りデアリマス

○中山太一君 ソレデハ御急ギノヤウデアリマスカラ、モウ一ツダケ御尋ネシテ終リタイト思ヒマス、今日ノ日本ハ國際平和ヲ以テ一直線ニ進ムヨリ外ハナイノデアリマス、其ノ日本ヲ再建スル爲メニハ、國內ニ於テモ飽ク迄モ平和と友情ヲ以テ協力シナケレバナラヌ時ニ、開爭第一主義ヲ以テ進ムヤウナ空氣ガ勞資ノ間ニ漲ツテ居ルコトハ、勞資共ニ反省シナケレバナラヌト思ヒマスガ、労働條件ノ維持改善、其ノ他經濟的地位ノ向上ニ關スル問題以外ニ、

之ヲ煽動スルト云フガ如キニ至ツテハ、是ハ甚シク不當デアリマス、政府ニ於テモ此ノ點ニ付テハ相當考ヘヲ持ツテ居ルコト云フコトヲ茲ニ申上ゲタイト思ヒマス

○中山太一君 過般來厚生大臣カラモ深切ニ御答辯ヲ戴キ、又本日ハ諸國務大臣、又木村司法大臣カラ大變御懇切ニ御答辯ヲ戴キマシテ、私ハ極メテ満足シ、感謝スル次第デアリマス、私ノ特ニ承ハリタイコトハ之ヲ以テ終リマス

○委員長(男爵渡邊修二君) ソレデハ明日午前十時ヨリ開會致シマス、本日ハ之ニテ散會致シマス

午後二時三十三分散會
出席者左ノ如シ

委員長 男爵渡邊 修二君
副委員長 子爵高木 正得君
委員

公爵三條 實春君
侯爵東鄉 彪君
侯爵鍋島 直泰君
伯爵王生 基泰君
子爵松平 乘統君
子爵大久保 敬倫君
子爵三宅 直胖君
桑木 嚴藏君
吉田 久君
男爵松本 本松君
男爵山根 健男君
男爵山名 義鶴君
男爵中村 徹雄君
樋田 虎雄君
我妻 榮君
正田貞一郎君
竹中藤右衛門君
中山 太一君
片倉兼太郎君

國務大臣

司法大臣 木村篤太郎君

厚生大臣 河合 良成君

國務大臣 階 桂之助君

政府委員

厚生事務官 吉武 惠市君

同 富樫 總一君

昭和二十一年十一月十五日印刷

昭和二十一年十一月十六日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局